

令和4年度

家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査事業委託業務

(令和5年度調査分の準備等)

報 告 書

令和5年3月

株式会社 インテージ

株式会社 住環境計画研究所



## 目次

1. 目的と業務内容.....	1
1.1 目的.....	1
1.2 業務内容.....	1
2. 家庭 CO <sub>2</sub> 統計令和 5 年度調査（調査員調査）の準備.....	3
2.1 調査の準備状況.....	3
2.2 調査の合理化・効率化の検討.....	12
3. 家庭 CO <sub>2</sub> 統計の承認申請に係る準備の支援等.....	19
3.1 令和 5 年度調査の総務省への変更申請補助等の実施.....	19
4. 家庭 CO <sub>2</sub> 統計の利用促進及び改善に向けた検討.....	21
4.1 ニーズ把握の実施.....	21
4.1.1 背景・目的・方法.....	21
4.1.2 ヒアリング先.....	21
4.1.3 ヒアリング項目.....	21
4.1.4 ヒアリング調査結果.....	22
4.1.5 まとめ.....	29
4.2 e-Stat のデータベース化.....	32
参考資料.....	35



## 1. 目的と業務内容

### 1.1 目的

我が国においては、国連気候変動枠組条約に基づき、温室効果ガスの排出・吸収量目録（以下「インベントリ」という。）の提出とともに、インベントリの精緻化が求められているところである。また、2050年カーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることとされており、家庭部門においても効果的な削減対策の実施が喫緊の課題となっている。

そのため、家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態やエネルギー消費実態等の詳細な基礎データを把握することを目的として、全国13,000世帯（調査員調査6,500世帯、インターネット・モニター調査（以下「IM調査」という）6,500世帯）を対象とする一般統計等調査「家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査」（平成28年11月4日付総務省承認）（以下「家庭CO<sub>2</sub>統計」という。）を平成29年度（2017年度）から実施している。

本業務では、家庭CO<sub>2</sub>統計の令和5年度調査に関し、調査員調査の準備・実査、結果の分析等を実施する。

なお、令和5年度に家庭CO<sub>2</sub>統計を実施するためには準備から実査・集計・分析・公表等までに約3年を要することから、本業務は令和4年度～令和6年度の3か年度にかけて行う。今年度は1年度目の業務で、調査の準備業務を実施する。

### 1.2 業務内容

#### (1) 家庭CO<sub>2</sub>統計令和5年度調査（調査員調査）の準備

家庭CO<sub>2</sub>統計の令和5年度調査の調査員調査について、全国6,500世帯を対象とし、令和5年4月から令和6年3月までの1年間、電気・ガス・灯油等の使用量や属性事項等を調査する。

調査は統計法に基づく政府の一般統計調査として承認を受けた内容に基づき実施する。

令和4年度は、調査地点の抽出、調査世帯名簿の作成、調査世帯への協力要請、調査票等調査資材の印刷・配布、回答者負担の軽減等を目的とするインターネットで回答（オンライン回答）を行う画面の作成等の調査の準備を行う。なお、回収率の向上に向け、調査員調査の調査票の配布は調査員の訪問により行う等の取り組みを実施する。調査の実施に向けて合理化・効率化の観点から課題の整理を行い、改善の検討を行うものとする。

なお、本委託業務の実施に当たっては、統計法及び関係法令等を遵守して実施するとともに、調査票情報等のデータについては適切に管理を行い、環境省での保管が必要なデータについては適切な時期に提供する。

#### (2) 家庭CO<sub>2</sub>統計の承認申請に係る準備の支援等

家庭CO<sub>2</sub>統計の令和5年度調査に係る調査票や標本設計などの調査設計について、調査設計の改善に伴う承認申請に係る準備を支援し、必要に応じて対応支援を行う。

### (3) 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の利用促進及び改善に向けた検討

統計の利用が期待される主体（地方公共団体、企業、団体、研究者等）に対するヒアリング（1人当たり2時間、のべ5人程度を想定）を行い、調査事項や集計事項に関する意見の収集等により、統計調査の活用促進及び改善のためのニーズの把握を行う。

令和4年3月に「政府統計の総合窓口 e-Stat」で公表した令和2年度調査結果を、政府統計共同利用システム統計情報データベースへ登録を行い、統計利用者の利便性の向上を図る。

その他、必要に応じて、家庭 CO<sub>2</sub> 統計の利用促進及び改善に向けた取り組みを実施する。

## 2. 家庭 CO<sub>2</sub> 統計令和 5 年度調査（調査員調査）の準備

### 2.1 調査の準備状況

表 2.1.1 調査員調査準備スケジュール

	令和 4 年				令和 5 年		
	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
住民基本台帳による抽出	□	□	■	■			
オンライン回答画面の作成				■	■	■	■
調査物品の準備				□	■	■	■
調査協力依頼状の送付						■	■
調査員への指示集会						■	■
調査員による調査協力依頼						□	■

#### (1) 住民基本台帳による抽出

##### 1) 地点抽出

調査世帯数は全国計で 6,500 世帯とし、地方 10 層、都市階級 3 層を設定した。都市階級の層化には「令和 2 年国勢調査」（総務省統計局）の世帯数を用いた。

##### 【地方の層化】

- ・北海道：北海道
- ・東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- ・関東甲信：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
- ・北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- ・沖縄：沖縄県

##### 【都市階級の層化】

- ・都道府県庁所在市（東京都は区部）及び政令指定都市
- ・人口 5 万人以上の市
- ・人口 5 万人未満の市及び町村

なお、実査効率性の観点から 1 調査地点あたりの調査世帯数を 20 世帯と設定し、全国計で 325 地点を設定した。

表 2.1.2 地方別都市階級別調査世帯数（住民基本台帳からの選定による調査）

地方	都市階級①	都市階級②	都市階級③	合計
北海道	220(11)	200(10)	140(7)	560(28)
東北	200(10)	240(12)	160(8)	600(30)
関東甲信	500(25)	520(26)	80(4)	1,100(55)
北陸	220(11)	200(10)	120(6)	540(27)
東海	220(11)	360(18)	80(4)	660(33)
近畿	300(15)	380(19)	60(3)	740(37)
中国	220(11)	260(13)	120(6)	600(30)
四国	240(12)	120(6)	180(9)	540(27)
九州	300(15)	200(10)	160(8)	660(33)
沖縄	120(6)	240(12)	140(7)	500(25)
全国計	2,540(127)	2,720(136)	1,240(62)	6,500(325)

※ 括弧内の数値は調査地点数を表す。

「令和2年国勢調査 小地域集計表」（総務省統計）の町丁目ごとの世帯数から抽出確率を設定し、30層ごとに等間隔抽出法を用いて地点抽出を行い、325地点を令和5年度調査の対象地点として選定した。なお表2.1.3～表2.1.5は、同一市区町村から複数選定されている場合、一つの市区町村としているため、297自治体を掲載している。

表 2.1.3 抽出地点 (1/3)

Code	都道府県名	市区町村名	Code	都道府県名	市区町村名
01101	北海道	札幌市中央区	07201	福島県	福島市
01102	北海道	札幌市北区	07202	福島県	会津若松市
01103	北海道	札幌市東区	07203	福島県	郡山市
01104	北海道	札幌市白石区	07204	福島県	いわき市
01105	北海道	札幌市豊平区	07207	福島県	須賀川市
01106	北海道	札幌市南区	07342	福島県	岩瀬郡鏡石町
01107	北海道	札幌市西区	08217	茨城県	取手市
01108	北海道	札幌市厚別区	08225	茨城県	常陸大宮市
01109	北海道	札幌市手稲区	08232	茨城県	神栖市
01202	北海道	函館市	09201	栃木県	宇都宮市
01203	北海道	小樽市	09210	栃木県	大田原市
01204	北海道	旭川市	10204	群馬県	伊勢崎市
01205	北海道	室蘭市	10382	群馬県	甘楽郡下仁田町
01206	北海道	釧路市	11104	埼玉県	さいたま市見沼区
01207	北海道	帯広市	11110	埼玉県	さいたま市岩槻区
01210	北海道	岩見沢市	11202	埼玉県	熊谷市
01213	北海道	苫小牧市	11207	埼玉県	秩父市
01219	北海道	紋別市	11214	埼玉県	春日部市
01224	北海道	千歳市	11221	埼玉県	草加市
01229	北海道	富良野市	11227	埼玉県	朝霞市
01235	北海道	石狩市	11235	埼玉県	富士見市
01345	北海道	茅部郡森町	12105	千葉県	千葉市緑区
01430	北海道	樺戸郡月形町	12203	千葉県	市川市
01547	北海道	斜里郡小清水町	12204	千葉県	船橋市
01631	北海道	河東郡音更町	12207	千葉県	松戸市
01691	北海道	野付郡別海町	12216	千葉県	習志野市
02201	青森県	青森市	12220	千葉県	流山市
02202	青森県	弘前市	12229	千葉県	袖ヶ浦市
02203	青森県	八戸市	12237	千葉県	山武市
02207	青森県	三沢市	13104	東京都	新宿区
02442	青森県	三戸郡五戸町	13106	東京都	台東区
03201	岩手県	盛岡市	13108	東京都	江東区
03205	岩手県	花巻市	13110	東京都	目黒区
03215	岩手県	奥州市	13111	東京都	大田区
03321	岩手県	紫波郡紫波町	13112	東京都	世田谷区
04101	宮城県	仙台市青葉区	13114	東京都	中野区
04103	宮城県	仙台市若林区	13115	東京都	杉並区
04104	宮城県	仙台市太白区	13117	東京都	北区
04105	宮城県	仙台市泉区	13119	東京都	板橋区
04203	宮城県	塩竈市	13120	東京都	練馬区
04213	宮城県	栗原市	13121	東京都	足立区
04321	宮城県	柴田郡大河原町	13123	東京都	江戸川区
04606	宮城県	本吉郡南三陸町	13201	東京都	八王子市
05201	秋田県	秋田市	13206	東京都	府中市
05203	秋田県	横手市	13209	東京都	町田市
05363	秋田県	南秋田郡八郎潟町	13213	東京都	東村山市
06201	山形県	山形市	13224	東京都	多摩市
06202	山形県	米沢市			
06324	山形県	西村山郡大江町			

表 2.1.4 抽出地点 (2/3)

Code	都道府県名	市区町村名	Code	都道府県名	市区町村名
14102	神奈川県	横浜市神奈川区	23101	愛知県	名古屋市千種区
14106	神奈川県	横浜市保土ヶ谷区	23104	愛知県	名古屋市西区
14110	神奈川県	横浜市戸塚区	23106	愛知県	名古屋市中区
14114	神奈川県	横浜市瀬谷区	23110	愛知県	名古屋市中川区
14131	神奈川県	川崎市川崎区	23112	愛知県	名古屋市南区
14134	神奈川県	川崎市高津区	23115	愛知県	名古屋市名東区
14151	神奈川県	相模原市緑区	23201	愛知県	豊橋市
14201	神奈川県	横須賀市	23202	愛知県	岡崎市
14205	神奈川県	藤沢市	23203	愛知県	一宮市
14212	神奈川県	厚木市	23206	愛知県	春日井市
15101	新潟県	新潟市北区	23208	愛知県	津島市
15102	新潟県	新潟市東区	23211	愛知県	豊田市
15103	新潟県	新潟市中央区	23213	愛知県	西尾市
15105	新潟県	新潟市秋葉区	23219	愛知県	小牧市
15107	新潟県	新潟市西区	23224	愛知県	知多市
15202	新潟県	長岡市	23232	愛知県	愛西市
15204	新潟県	三条市	23447	愛知県	知多郡武豊町
15206	新潟県	新発田市	24201	三重県	津市
15217	新潟県	妙高市	24202	三重県	四日市市
15222	新潟県	上越市	24204	三重県	松阪市
15224	新潟県	佐渡市	24208	三重県	名張市
15504	新潟県	刈羽郡刈羽村	24562	三重県	南牟婁郡紀宝町
16201	富山県	富山市	25203	滋賀県	長浜市
16202	富山県	高岡市	25213	滋賀県	東近江市
16209	富山県	小矢部市	26102	京都府	京都市上京区
17201	石川県	金沢市	26107	京都府	京都市南区
17202	石川県	七尾市	26109	京都府	京都市伏見区
17207	石川県	羽咋市	26208	京都府	向日市
17210	石川県	白山市	26213	京都府	南丹市
17463	石川県	鳳珠郡能登町	27104	大阪府	大阪市此花区
18201	福井県	福井市	27111	大阪府	大阪市浪速区
18202	福井県	敦賀市	27116	大阪府	大阪市生野区
18210	福井県	坂井市	27120	大阪府	大阪市住吉区
18501	福井県	三方上中郡若狭町	27123	大阪府	大阪市淀川区
19211	山梨県	笛吹市	27127	大阪府	大阪市北区
19214	山梨県	中央市	27143	大阪府	堺市東区
20201	長野県	長野市	27202	大阪府	岸和田市
20220	長野県	安曇野市	27205	大阪府	吹田市
21201	岐阜県	岐阜市	27207	大阪府	高槻市
21204	岐阜県	多治見市	27210	大阪府	枚方市
21214	岐阜県	可児市	27211	大阪府	茨木市
21504	岐阜県	加茂郡七宗町	27215	大阪府	寝屋川市
22102	静岡県	静岡市駿河区	27219	大阪府	和泉市
22103	静岡県	静岡市清水区	27224	大阪府	摂津市
22133	静岡県	浜松市西区	27227	大阪府	東大阪市
22206	静岡県	三島市			
22210	静岡県	富士市			
22213	静岡県	掛川市			
22461	静岡県	周智郡森町			

表 2.1.5 抽出地点 (3/3)

Code	都道府県名	市区町村名	Code	都道府県名	市区町村名
28101	兵庫県	神戸市東灘区	39201	高知県	高知市
28106	兵庫県	神戸市長田区	39204	高知県	南国市
28109	兵庫県	神戸市北区	39211	高知県	香南市
28201	兵庫県	姫路市	39412	高知県	高岡郡四万十町
28202	兵庫県	尼崎市	40105	福岡県	北九州市戸畑区
28203	兵庫県	明石市	40107	福岡県	北九州市小倉南区
28206	兵庫県	芦屋市	40109	福岡県	北九州市八幡西区
28210	兵庫県	加古川市	40132	福岡県	福岡市博多区
28219	兵庫県	三田市	40133	福岡県	福岡市中央区
28224	兵庫県	南あわじ市	40134	福岡県	福岡市南区
29201	奈良県	奈良市	40136	福岡県	福岡市城南区
29209	奈良県	生駒市	40202	福岡県	大牟田市
29424	奈良県	北葛城郡上牧町	40203	福岡県	久留米市
30201	和歌山県	和歌山市	40215	福岡県	中間市
31201	鳥取県	鳥取市	40216	福岡県	小郡市
31202	鳥取県	米子市	40220	福岡県	宗像市
31204	鳥取県	境港市	40231	福岡県	那珂川市
32207	島根県	江津市	40383	福岡県	遠賀郡岡垣町
33101	岡山県	岡山市北区	41201	佐賀県	佐賀市
33102	岡山県	岡山市中区	41208	佐賀県	小城市
33104	岡山県	岡山市南区	42201	長崎県	長崎市
33202	岡山県	倉敷市	42202	長崎県	佐世保市
33203	岡山県	津山市	42213	長崎県	雲仙市
33210	岡山県	新見市	43101	熊本県	熊本市中央区
33445	岡山県	浅口郡里庄町	43104	熊本県	熊本市南区
34102	広島県	広島市東区	43202	熊本県	八代市
34103	広島県	広島市南区	43214	熊本県	阿蘇市
34105	広島県	広島市安佐南区	44201	大分県	大分市
34108	広島県	広島市佐伯区	44202	大分県	別府市
34202	広島県	呉市	44209	大分県	豊後高田市
34205	広島県	尾道市	45201	宮崎県	宮崎市
34207	広島県	福山市	45202	宮崎県	都城市
34212	広島県	東広島市	45405	宮崎県	児湯郡川南町
34302	広島県	安芸郡府中町	46201	鹿児島県	鹿児島市
35201	山口県	下関市	46203	鹿児島県	鹿屋市
35202	山口県	宇部市	46223	鹿児島県	南九州市
35203	山口県	山口市	47201	沖縄県	那覇市
35207	山口県	下松市	47205	沖縄県	宜野湾市
35210	山口県	光市	47207	沖縄県	石垣市
35215	山口県	周南市	47208	沖縄県	浦添市
36201	徳島県	徳島市	47209	沖縄県	名護市
36202	徳島県	鳴門市	47210	沖縄県	糸満市
36207	徳島県	美馬市	47211	沖縄県	沖縄市
36402	徳島県	板野郡北島町	47212	沖縄県	豊見城市
37201	香川県	高松市	47213	沖縄県	うるま市
37202	香川県	丸亀市	47214	沖縄県	宮古島市
37206	香川県	さぬき市	47215	沖縄県	南城市
37208	香川県	三豊市	47313	沖縄県	国頭郡宜野座村
37387	香川県	綾歌郡綾川町	47325	沖縄県	中頭郡嘉手納町
38201	愛媛県	松山市	47328	沖縄県	中頭郡中城村
38202	愛媛県	今治市	47348	沖縄県	島尻郡与那原町
38205	愛媛県	新居浜市	47361	沖縄県	島尻郡久米島町
38206	愛媛県	西条市			
38210	愛媛県	伊予市			
38402	愛媛県	伊予郡砥部町			

## 2) 対象世帯名簿

1 地点あたり 60 世帯の対象世帯名簿を、対象地点の含まれる市区町村の住民基本台帳を用いて等間隔抽出法により作成した。その際、選定された対象世帯の世帯主がわかる場合は、世帯主を対象世帯名簿に記載するよう留意した。

## (2) オンライン回答画面の作成

対象世帯が調査票への記入により回答する他、インターネットでも回答できるよう、オンライン回答画面を作成した。対象世帯にとっては投函の必要がないことから、労力を軽減することができ、回収率の向上につながる。

なお、オンライン回答画面では、他の対象世帯の回答画面にて回答されないよう、対象世帯ごとに ID とパスワードを発行した。

<b>F1</b>	インターネットコード表に記載のID(6ケタの数字)をご入力ください。
(回答は半角数字で入力)	
D:	<input type="text"/>
入力内容をご確認のうえ、次のページにお進みください :	
<b>F2</b>	インターネットコード表に記載のパスワード(5ケタの数字)をご入力ください。
(回答は半角数字で入力)	
パスワード:	<input type="text"/>
入力内容をご確認のうえ、次のページにお進みください :	

図 2.1.1 ID とパスワード入力画面

### (3) 調査物品の準備

令和5年4月からの調査開始に向け、調査員が配布する調査票等の調査物品の原稿の作成及び印刷を行った。まず、調査員稼働により令和5年2月に調査協力依頼活動を行った。

家庭CO<sub>2</sub>統計は、原則として12ヶ月分の調査票（エネルギー使用量調査票）と属性調査票（4月票、夏季票、冬季票）の全てを回収することで有効回答としている。そのため、今後1年間継続してもらえるためにも、令和5年5月に最初の調査票となる4月票の回収を調査員が実施することで、対象世帯と良好な関係を築けるよう、準備を進めた。

調査協力依頼活動では、対象世帯に対して表2.1.6 対象世帯へ配布する調査物品（調査協力依頼活動時）の調査物品を配布するとともに、調査員に対しては、対象世帯の住所リストや業務概要説明書、依頼活動説明書等を配布し、調査協力依頼活動がスムーズに進められるよう配慮した。

表 2.1.6 対象世帯へ配布する調査物品（調査協力依頼活動時）

調査物品	概要
挨拶状（環境省）	環境省から対象世帯への依頼文書
挨拶状（インテージリサーチ）	実査機関から対象世帯への依頼文書
エネルギー使用量調査票（4月票）	例月票と区別するため水色の調査票とする
エネルギー使用量調査票（5月票）	令和4年度調査の回収票と区別するため白色の調査票とする
回答の手引き（4月票・例月票）	4月票及び例月票の回答方法を、検針票等を用いて解説
令和3年度調査のご紹介	令和3年度調査結果の紹介、対象世帯が協力した結果の活用事例
インターネットコード表	オンライン回答の際のIDとパスワード（対象者ごとにユニーク）

なお、属性調査票の回収が重要となることから、4月票、夏季票、冬季票をそれぞれ令和5年5月、9月、令和6年3月に調査員が訪問して回収する予定である。

#### (4) 調査員への指示集会

今後1年間の活動が円滑に進められるように、全国で調査員指示集会を開催した。1年間に渡る調査の流れを説明するとともに、依頼をかける際の手順について詳細な指示を行った。なお、この指示集会に参加しなければ、本業務の調査員として認めないこととし、統計調査の質の確保及び個人情報を含む情報管理の徹底等を図った。

会場選定においては、出席予定者の2倍以上の定員となる広さの会議室を準備した。また、マスク着用を必須とし、会場入り口での手指消毒、検温、集会途中での換気などの感染症対策を講じた。

表 2.1.7 調査員指示集会の実施状況

エリア	会場	日付	時間
沖縄県	那覇	2月10日(金)	10:30~13:00
静岡県	静岡	2月13日(月)	13:00~15:30
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県	東京	2月14日(火)	10:30~13:00/14:00~16:30
熊本県	熊本	2月15日(水)	11:00~13:30
富山県、石川県、福井県	金沢	2月15日(水)	11:00~13:30
徳島県、香川県、高知県	高松	2月16日(木)	13:00~15:30
鹿児島県	鹿児島	2月17日(金)	10:30~13:00
愛媛県	松山	2月17日(金)	14:00~16:30
山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県	福岡	2月18日(土)	10:30~13:00
鳥取県、島根県、広島県	広島	2月20日(月)	13:00~15:30
岡山県	岡山	2月21日(火)	11:00~13:30
岐阜県、愛知県、三重県	名古屋	2月21日(火)	10:00~12:30/13:30~16:00
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	大阪	2月22日(水)	10:00~12:30/13:30~16:00
青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	仙台	2月22日(水)	11:00~13:30
新潟県	新潟	2月23日(木)	10:30~13:00
北海道	札幌	2月25日(土)	11:00~13:30
宮崎県	宮崎	2月27日(月)	11:00~13:30

### (5) 調査員による調査協力依頼

(1)で作成した対象者世帯名簿（1地点あたり60世帯）の中から20世帯への調査協力を得られるよう活動を行った。ただし、集計結果の精度を向上させるため、エネルギー消費量と相関の高い世帯区分と住居区分については一定の基準をもって調査協力を得られるよう留意した。

世帯区分では単身世帯2割、二人以上世帯8割の比率を確保し、住居区分については戸建または集合住宅の一方に偏ることなく、必ずいずれかを3割含むようにした。



図 2.1.2 調査協力依頼における基準

調査員から調査協力依頼を受けた対象世帯が自治体を通じて当該調査の実施状況について照会がなされることがあるため、対象地点のある市区町村に対して、調査員が依頼活動を実施していることを文書にて環境省より通達した。

## 2.2 調査の合理化・効率化の検討

調査の合理化・効率化を進めるために、以下の5つの取組を検討した。

表 2.2.1 調査の合理化・効率化に向けた取組

(1) オンライン回答の推奨	オンライン回答を促進するため、回答の手引きの表紙にインターネット回答画面へアクセスする QR コードを掲載した。
(2) 委任状方式の実施	調査対象世帯から委任状を取得しエネルギー事業者（電力会社・都市ガス会社）からエネルギー使用量データを受領する方法を、一部事業者で導入。
(3) Web 閲覧サービスの周知	対象世帯がエネルギー使用量を容易かつ正確に把握でき、調査継続が可能となるよう、エネルギー事業者等の Web 閲覧サービスの普及を図った。
(4) 回答の手引きの拡充	インターネット回答を促進するため、回答の手引きの表紙にインターネット回答画面へアクセスする QR コードを掲載した。
(5) 調査票の改定	効率的に対象世帯の状況を把握できるよう調査票の改善・改定を行った。

### (1) オンライン回答の推奨

インターネット回答を促進するため、回答の手引きの表紙にインターネット回答画面へアクセスする QR コードを掲載した。

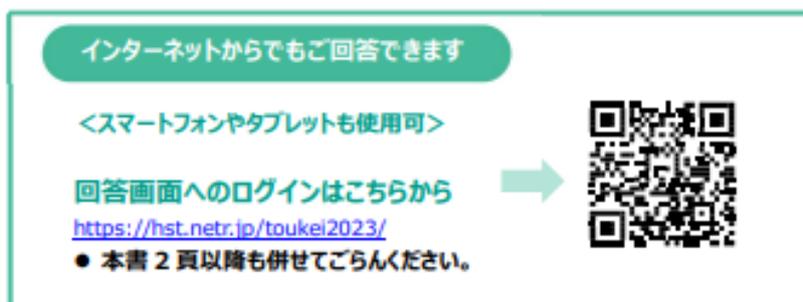


図 2.2.1 インターネット回答画面への QR コード

## (2) 委任状方式の実施

委任状方式とは、調査世帯が自らの使用する電気使用量やガス使用量について、エネルギー供給事業者が調査機関に提供するように委任する方式である。委任状方式を実施する地方の選定にあたり、共通の委任状書式で実施できることや当該地方のガス会社の規模等を考慮し、四国地方にて実施することとする。なお、ガス事業者の供給エリアを考慮し、四国地方の 27 地点中 10 地点にて実施する。

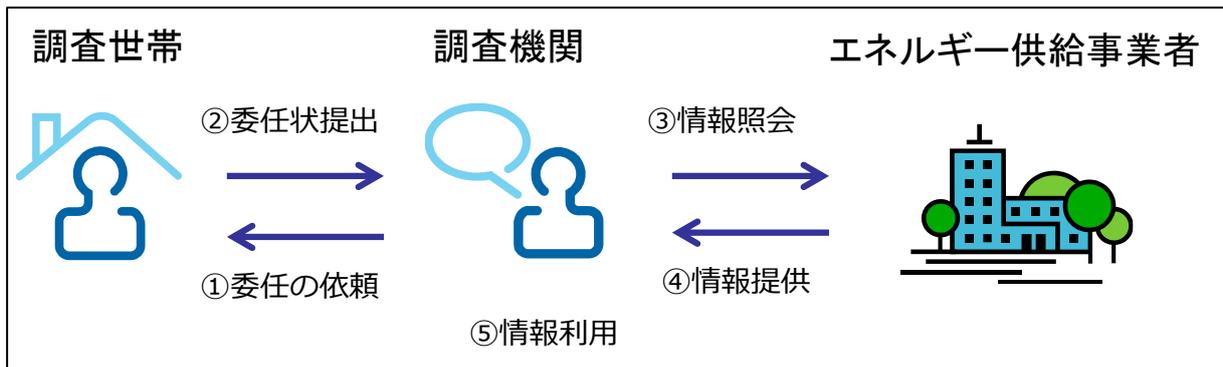


図 2.2.2 委任状方式の概要

### (3) Web 閲覧サービス利用の周知

回答の手引きに電気小売事業者及びガス小売事業者の Web 閲覧サービスの URL を記載することとその活用を促進する。

表 2.2.2 電力取扱い企業の Web 閲覧サービスの一例

※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可  

(令和 4 年 12 月現在の情報)

企業名	サービス名	サービス URL
北海道電力	Web 料金 お知らせサービス	<a href="http://www.hepco.co.jp/home/price/price_info/index.html">http://www.hepco.co.jp/home/price/price_info/index.html</a>
東北電力	よりそう e ねっと	<a href="https://www3.zf1.tohoku-epco.co.jp">https://www3.zf1.tohoku-epco.co.jp</a>
北陸電力	ほくリンク	<a href="https://www.rikuden.co.jp/hokulink/">https://www.rikuden.co.jp/hokulink/</a>
東京電力 エナジーパートナー	くらし TEPCOweb	<a href="https://www.tepco.co.jp/ep/kurashi/feature.html">https://www.tepco.co.jp/ep/kurashi/feature.html</a>
中部電力ミライズ	カテエネ	<a href="https://katene.chuden.jp">https://katene.chuden.jp</a>
関西電力	はび e みる電	<a href="https://kepco.jp/miruden/">https://kepco.jp/miruden/</a>
四国電力	よんでんコンシェルジュ	<a href="http://www.yonden.co.jp/y-con/">http://www.yonden.co.jp/y-con/</a>
中国電力	ぐとずっと。WEB	<a href="http://www.energia-support.com">http://www.energia-support.com</a>
九州電力	キレイライフプラス	<a href="https://www.kireilife.net">https://www.kireilife.net</a>
沖縄電力	電気ご使用 実績照会サービス	<a href="https://www.okiden.co.jp/service/result/">https://www.okiden.co.jp/service/result/</a>

企業名	サービス名	サービス URL
東京ガス	my TOKYO GAS	<a href="https://members.tokyo-gas.co.jp">https://members.tokyo-gas.co.jp</a>
大阪ガス	マイ大阪ガス	<a href="https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html">https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html</a>
KDDI	au でんき	<a href="https://www.au.com/energy/">https://www.au.com/energy/</a>
ソフトバンクでんき	おうちでんき	<a href="https://www.softbank.jp/energy/">https://www.softbank.jp/energy/</a>
ENEOS	ENEOS でんき	<a href="http://www.eneos.co.jp/denki-kyotsu/">http://www.eneos.co.jp/denki-kyotsu/</a>
	でんきサービス	<a href="https://mydenki.jp/private">https://mydenki.jp/private</a>
J:COM 電力	エコレポホーム	<a href="https://www.jcom.co.jp/service/electricity/ecorepo_home/">https://www.jcom.co.jp/service/electricity/ecorepo_home/</a>
楽天エナジー	楽天でんき	<a href="https://energy.rakuten.co.jp/electricity/">https://energy.rakuten.co.jp/electricity/</a>
ミツウロコヴェッセル	ミツウロコでんき	<a href="https://mitsuurokodenki.jp">https://mitsuurokodenki.jp</a>
MC リテールエナジー	まちエネ	<a href="https://www.machi-ene.jp">https://www.machi-ene.jp</a>
HTB エナジー	HTB エナジー	<a href="https://htb-energy.com">https://htb-energy.com</a>
出光興産	idemitsu でんき	<a href="https://denki.idemitsu.com">https://denki.idemitsu.com</a>

表 2.2.3 ガス小売事業者の Web 閲覧サービス

都市ガス会社の Web 閲覧サービスの一例

※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可



(令和 4 年 12 月現在の情報)

企業名	サービス名	サービス URL
北海道ガス	Tag Tag	<a href="https://tagtag.hokkaido-gas.co.jp/portal/MyPage/top">https://tagtag.hokkaido-gas.co.jp/portal/MyPage/top</a>
東京ガス	my TOKYO GAS	<a href="https://members.tokyo-gas.co.jp">https://members.tokyo-gas.co.jp</a>
京葉ガス	ウイズ京葉ガス	<a href="https://with.keiyogas.co.jp/login">https://with.keiyogas.co.jp/login</a>
サーラエナジー (旧中部ガス)	マイサーラ	<a href="https://www.mysala.jp/towngas">https://www.mysala.jp/towngas</a>
東邦ガス	Club TOHO GAS	<a href="https://members.tohogas.co.jp">https://members.tohogas.co.jp</a>
大阪ガス	マイ大阪ガス	<a href="https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html">https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html</a>
西部ガス	西部ガスマイページ	<a href="https://mypage.saibugas.co.jp/login">https://mypage.saibugas.co.jp/login</a>
日本瓦斯 (ニチガス)	My NICIGAS	<a href="https://www.nichigas.co.jp/mynicigas">https://www.nichigas.co.jp/mynicigas</a>

(4) 回答の手引きの拡充

回答の手引きは、対象世帯が調査票の回答に困った際に参考にする資料であり、わかりやすいことが求められることから、デザイン性を考慮し、その視認性の向上を図った（参考資料の「回答の手引き」参照）。

## (5) 調査票の改定

全ての調査票において、世帯調査であることを明示するため、設問には「お宅の～」などの標記を追加した。また、会社名の更新や時世にあった表現を用いるなど修正を加えた。その上で、対象世帯のエネルギー使用量と関連のあると思われる設問を以下のとおり追加した。

なお、追加的業務の提案として、過年度調査結果やプレ調査の結果から追加設問を中心に、調査員へヒアリングを実施したので、その際の意見を(調査員の意見)として記載する。

リフォーム及び断熱リフォームの実施状況についての設問の追加。

<4月票 問8-2>

問8-2 問8で1とお答えの持ち家・分譲(住宅、マンション)について、2010(平成22)年1月以降に、以下に示す箇所の改修工事(リフォーム)を行ったことがありますか。

【それぞれ一つに○】

	断熱性・省エネ性の向上を目的とした改修工事を行ったことがある	その他の目的(補修、更新、耐震補強等)で改修工事を行ったことがある	改修工事を行ったことはない
窓	1	2	3
壁	1	2	3
床	1	2	3
天井・屋根	1	2	3

(調査員の意見)マンションでは窓や壁は共用部のため共用部の改修工事を対象に含める必要がある。

再生可能エネルギーによるCO<sub>2</sub>排出量ゼロの電力契約プランについての設問の追加。

<4月票 問15-3>

問15-3 お宅では、電力会社との契約で、再生可能エネルギー(太陽光発電、風力発電、水力発電等)の利用等によりCO<sub>2</sub>排出量ゼロの契約プランを選択していますか(同様のオプション契約を追加している場合も含まれます)。

※該当するプラン(オプション)の名称に「グリーン」、「再エネ」、「自然」、「CO<sub>2</sub>フリー」、「カーボンフリー」、「100」などの語句が含まれるのが一般的です。

【一つに○】

1 選択している                      2 選択していない                      3 わからない

(調査員の意見)各調査員の担当地点で多く契約されているプランを事前に示す必要がある。

旧一般電気事業者のプランや契約数の多い新電力のプランを回答の手引きに示す。

<4月票\_問19 例月票\_問6>

ガソリン・軽油の購入量及び支払金額の回答欄を1つから5つに増やす。

問19 お宅での4月中のガソリンおよび軽油の購入の有無を、**あなた以外の居住者の分も含めて**お答えください。購入が有る場合は、それぞれ購入量と支払金額をお答えください。

※あなた以外の居住者も含め、居住者全員分の購入についてお答えください。

※主に事業用を使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。

※レンタカーなど、一時的に利用した車両のための購入を除きます。

※4月中に複数回購入した場合は、全てを記入してください。5件以上ある場合は、5件目以降の合計値を5件目の回答欄に記載してください。

※軽自動車用の燃料はガソリンです。

	購入【一つに○】		有の場合	購入量【数値を記入】	支払金額【数値を記入】																																						
	有	無																																									
ガソリン	1	2	→	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					

	購入【一つに○】		有の場合	購入量【数値を記入】	支払金額【数値を記入】																																						
	有	無																																									
軽油	1	2	→	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>リットル</td> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>十</td><td>-</td><td>円</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> </table>	万	千	百	+	十	-	円	□	□	□	□	□	□	□
百	+	十	-	リットル	万	千	百	+	十	-	円																																
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																
万	千	百	+	十	-	円																																					
□	□	□	□	□	□	□																																					

注) 軽自動車用の燃料はガソリンです。

(調査員の意見) 今まで対象者に複数の領収書を合計してもらっていたので、今後は回答しやすくなる。

<夏季票 問 25>

それぞれの交通手段の利用状況についての設問を追加。

問 25 お宅には、以下の交通手段を利用している方はいますか。いる場合は、交通手段ごとに、お宅で最も利用している方の利用頻度をお答えください。

※通勤・通学は含めてください。

※仕事や旅行・帰省での利用は含めないでください。

	利用している方 【一つに〇】		お宅で最も利用している方の利用頻度 【一つに〇】						
	いる	いない	週に 5日 以上	週に 3~4 日	週に 1~2 日	2週間 に1日 程度	月に 1日 程度	月に 1日 未満	
鉄道 (注1)	1	2	→ いる場合	1	2	3	4	5	6
バス	1	2	→ いる場合	1	2	3	4	5	6
タクシー	1	2	→ いる場合	1	2	3	4	5	6
カーシェアリング (注2)	1	2	→ いる場合	1	2	3	4	5	6

(注1) 鉄道には、路面電車やモノレールも含まれます。

(注2) カーシェアリングとは、1台の自動車を複数の会員が共同で利用するサービスです。レンタカーとは異なります。

(調査員の意見)通勤と仕事の境界が曖昧なため「勤務中の移動は含めない」ことを明記する。

### 3. 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の承認申請に係る準備の支援等

#### 3.1 令和 5 年度調査の総務省への変更申請補助等の実施

令和 5 年度調査における調査改定のための総務省への変更申請にあたり、総務省からの問い合わせおよび指摘に対応するための補助業務を実施した。令和 4 年 4 月から申請補助を実施し、同年 11 月 30 日に総務省からの内諾を得たうえで、令和 5 年 1 月 16 日に承認された。

##### (1) 変更申請書類

変更申請において作成補助を行った申請書類は表 3.1.1 の通りである。

表 3.1.1 変更申請の際に作成した申請書類

書類名	概要	作成補助対象
01 申請書	変更申請書の表紙。	
02_01 (別紙) 申請事項記載書	変更後の調査の設計及び集計事項について、変更箇所及びそれらの変更理由について記載。	○
02_02 調査票新旧対照表	各調査票の変更箇所及びその変更理由について記載。	○
03_01 調査計画 (変更後)	変更後の調査の目的、方法、期間、規模、調査項目等について記載。	○
03_02 調査計画 (変更後)【別添 1】 標本設計について	変更後の調査世帯抽出の際の層設定、目標回収数、調査世帯数について記載。	○
03_03 調査計画 (変更後)【別添 2】 集計事項について	e-Stat に掲載する集計表における主計事項について記載。	○
03_04【調査票】 4 月票改定案	変更後の 4 月調査票案を掲載。	○
03_05【調査票】 夏季票改定案	変更後の夏季調査票案を掲載。	○
03_06【調査票】 冬季票改定案	変更後の冬季調査票案を掲載。	○
03_07【調査票】 例月票改定案	変更後の例月調査票案を掲載。	○
04 調査実施の必要性	家庭 CO <sub>2</sub> 統計を実施する必要性について記載。	○
05 当該統計調査により作成された計画に関する利用実態及び調査の回収状況等について	これまでに家庭 CO <sub>2</sub> 統計が利活用された事例及び調査票の回収状況について記載。	○
06 共通点検・評価チェックリスト	調査計画の履行状況、回収率等の調査精度に関する事項、利活用状況等について点検・評価内容を記載。	

## (2) 変更申請時の総務省からの主な照会事項

変更申請時の総務省からの主な照会事項は以下の通りである。

1. 有識者検討会の名称や構成員、開催頻度、開催目的、検討内容などの詳細について
2. 調査開始以降の目標回収数の達成状況について
3. 標本設計の際の母集団情報を変更したことによる影響について
4. 調査地域、調査月、調査月の調査員の訪問回収の有無による有効回答率の影響について
5. 新規調査項目について
6. 調査報告者数を縮減する余地について

## 4. 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の利用促進及び改善に向けた検討

### 4.1 ニーズ把握の実施

#### 4.1.1 背景・目的・方法

家庭 CO<sub>2</sub> 統計を意義あるものとするためには、統計の利活用の進展・拡大が不可欠である。そのためには、調査項目が時とともに変化する利用者のニーズに即していることや、統計が利用し易いものであることが重要となる。このような理由から、平成 27 年度業務では、全国試験調査の公表に先立ち、エネルギー事業者、機器メーカー、自治体、研究機関等といった、統計の利用が想定される主体を対象に、統計に対するニーズを把握する目的で、11 件の対面によるヒアリングを実施した。また平成 29 年度業務では、その前年度に公表された全国試験調査の結果を紹介しながら、統計利用者として想定される地方自治体や研究者等を主な対象とした 12 件の対面によるヒアリングを実施した。令和 2 年度および 3 年度にはこれまでに調査票情報の二次利用の申請経験のある研究者や、今後活用の期待される自治体を対象に、それぞれ計 6 件および計 5 件のヒアリングをオンラインにて実施した。

今年度も引き続き、家庭 CO<sub>2</sub> 統計の利用経験がある、もしくは今後利用が期待される主体に対し、統計調査の概要や過年度調査で得られた結果等を紹介し、普段の業務における課題や家庭 CO<sub>2</sub> 統計に対するニーズを把握するとともに、統計の改善に資する意見・要望等を収集することを目的とし、ヒアリング調査を実施する。件数は計 5 件とする。

#### 4.1.2 ヒアリング先

##### <研究者>

- ・ 研究者 A (2022 年 11 月 21 日 16:00~17:30 @オンライン会議)
- ・ 研究者 B&C (2022 年 11 月 22 日 10:00~11:30 @オンライン会議)
- ・ 研究者 D (2022 年 11 月 30 日 13:00~14:30 @研究者 D オフィス)
- ・ 研究者 E&F (2022 年 12 月 8 日 16:00~17:45 @オンライン会議)

##### <団体>

- ・ 団体 G (2022 年 11 月 9 日 16:00~17:40 @団体 G 会議室)

#### 4.1.3 ヒアリング項目

- ・ 普段の業務における課題、関心事等
- ・ 従来利用している情報源とその課題
- ・ 家庭 CO<sub>2</sub> 統計を活用した理由 (若しくは活用を検討した理由)
- ・ 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の活用方法・活用成果 (活用経験がある場合)
- ・ 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の活用可能性 (活用経験が無い場合)
- ・ 家庭 CO<sub>2</sub> 統計を活用した感想 (活用経験がある場合)
- ・ 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の調査項目についての意見・要望
- ・ 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の調査設計 (調査規模、地域区分) についての意見・要望
- ・ 家庭 CO<sub>2</sub> 統計の公表 (公表時期、資料内容、集計事項等) についての意見・要望

- ・ 住宅性能に係る項目で一般の方が回答可能と考えられるもの（研究者 E&F 向け）
- ・ その他

#### 4.1.4 ヒアリング調査結果

ヒアリング調査により得られた主な意見を以下に記す。

##### (1) 研究者

質問事項	回答内容
<p>普段の業務における課題、関心事等</p>	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需要シミュレーションに力を入れており、対象地域の多様性や地域特性（住宅や世帯の特徴、気象条件等）を考慮して町全体のエネルギーの需要シミュレーションを実施している。</li> <li>・ 住宅の断熱性能の違いによるエアコンの消費電力の比較など、建築環境の研究も行っている。</li> <li>・ 電気自動車（EV）や太陽光発電システム（PV）が増加した場合に、どのように需要が変化するかという点にも着目している。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域社会などの集団単位で持続可能なライフスタイルの研究をしており、教育、自治体などの協力による活動を視野に入れている。</li> <li>・ 学校教育の中で教育している温暖化対策について、実際の行動に繋がるような教育プログラムを研究している。</li> <li>・ 地域の特性を考慮して、どこまで細かく分析するかはコストとの折り合いもある。そのため、似たような傾向を持つ地域を参考に分析している。</li> </ul> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家計調査や生活時間調査を活用し、生活スタイルの特徴とエネルギー消費の関連性を明らかにすることに興味を持っている。</li> <li>・ コロナによって増加した換気による空調負荷の影響について関心がある。</li> </ul> <p><b>研究者 E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界中で大都市に人口が集中しているため、必然的に集合住宅が多くなると思われるので、集合住宅を対象とした調査を増やしていく必要があると考えている。</li> </ul>
<p>従来利用している情報源</p>	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本ガス協会（JGA）が公表している一般ガス導管事業者一覧をデータベース化し、都市ガス供給エリアを市区町村単位で特定している。</li> <li>・ 国勢調査などから、地域別の世帯人数別世帯数等の情報を利用している。</li> <li>・ NHK 国民生活時間調査のデータから、年齢層別のライフスタイルに関する情報を利用している。</li> <li>・ 経済センサス（総務省）や、資源エネルギー庁の都道府県別・業種別の消費電力量のデータ、SII（環境共創イニシアチブ）の BEMS 実績報告の負荷カーブなどを使っている。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費動向調査や、ワークショップなどで市民に回答してもらった簡単なアンケートのデータなどを活用している。</li> </ul>

質問事項	回答内容
	<p><b>研究者 C</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業連関表や家計調査、再エネの導入ポテンシャルのデータを利用している。</li> </ul> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公的統計（家計調査、社会生活基本調査、産業連関表）、NHK 国民生活時間調査の他、HEMS データや、生活行動に関するアンケートデータを取得することもある。</li> </ul> <p><b>研究者 E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2000 年前後に日本全国の住宅のエネルギー消費を調べており、インターネットを使ってアンケート調査を実施していた。東日本大震災の前後でのエネルギー消費量の変化等も分析した。</li> </ul>
従来利用している情報源の課題	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去にあった設問が削除されると設問番号がずれる事があるので、時系列分析の際に項目の紐づけに苦勞する。</li> <li>都市ガス供給エリアを特定しているが、より細かな供給先などは各会社の約款を読まないと分からない。地方都市では、同じ市内でも中心地と郊外エリアとでは都市ガス普及状況が全く違うことがある。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体レベルでのデータがあるとよい。市民は気候変動に関しては国や大企業の問題として捉えることで、自ら関与を薄めてしまう。市民が関与することが重要という認識を持ってもらうことは重要である。</li> </ul> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来の情報源ではエネルギー消費とその要因となる情報が同一調査内で得られなかった。</li> </ul> <p><b>研究者 E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅は個別事情の塊なので、深堀して分析する際はデータの偏りは常に意識している。</li> </ul>
家庭 CO <sub>2</sub> 統計の活用可能性・利用方法・利用した感想	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用途別の使用エネルギー種を家庭 CO<sub>2</sub> 統計のデータから抽出している。</li> <li>市区町村名の表記がしっかりしている点は非常に良いと感じた。他の統計では市区町村で名寄せを行おうとしても、表記にばらつきがあり、うまく紐付けできないことがある。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー消費の地域特性や実態等を市民へ伝えていくという意味で、家庭 CO<sub>2</sub> 統計は非常に有益である。地域によって交通環境の違いや、再エネの選択肢などの相異があり、そういった地域特性と、家庭の排出量の関係を理解する上で、家庭 CO<sub>2</sub> 統計を参考にしている。</li> <li>ワークショップでは市民に対して、環境問題に対して興味を持ってもらえるよう、簡単な質問票を用いて個人のカーボンフットプリントを推計している。家庭のエネルギー消費に関する設問の立て方の検討において、家庭 CO<sub>2</sub> 統計の調査票を参考にしている。</li> <li>政策効果等を道徳に訴えるのではなく、定量的なデータを用いて議論することを心掛けている。地域ワークショップではできる限りその地域の</li> </ul>

質問事項	回答内容
	<p>データを用いて話をしたいが、既存のデータでは限界がある。そこで家庭でのエネルギー消費の状況を都道府県別や自治体別にダウンスケールする際に家庭 CO<sub>2</sub> 統計が活用できないかと考えている。</p> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー・資源学会の「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査利用研究会」に参加し利用している。</li> <li>国民生活時間調査と家計調査をもとにした家庭のエネルギー消費の推計の中で、暖房方法などの地域別の特徴を取り入れるために家庭 CO<sub>2</sub> 統計を補完的に活用した。</li> <li>用途別エネルギー種別消費量を収入別や世帯類型別に分析し、今後の人口動態の変化による家庭部門のエネルギー消費の予測を行った。</li> <li>家計調査をベースに産業関連表を組み合わせて、環境面と栄養面を両方満たすようなレシピの提案を行う研究も取り組んでおり、そこで家庭 CO<sub>2</sub> 統計におけるコンロの種類の情報を利用している。</li> <li>内容について不満な点はない。用途別排出量の推計方法をマニュアル化してあり、再現可能であることが大変ありがたい。</li> </ul> <p><b>研究者 E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍前後のエネルギー消費量の変化を家庭 CO<sub>2</sub> 統計のデータを参考に比較している。</li> </ul>
調査事項への意見・要望	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所得階層がもう少し細かいと良い。日本だと低所得者層に焦点をあてた調査はあまりないが、アメリカだと居住エリアによって所得階層が概ね判断できるため、貧困層へのエネルギー供給対策が検討されている。</li> <li>地域全体のエネルギー需要をシミュレーションする上で、断熱性能の違いを表現する指標が足りないと感じている。</li> <li>より詳細な都市ガス普及状況が分かるような設問（例えば、都市ガスを使おうと思えば使える状況にあるか否か）があると助かる。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PV や EV などにおける国や自治体の補助制度があることを知っているかという項目があると、認知状況が把握でき良いと思う。</li> </ul> <p><b>研究者 C</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EV の自宅での充電状況と、契約電気の再エネ比率の関係について把握できるような設問があるとありがたい。</li> <li>屋根に PV を設置するポテンシャルがどの程度あるのかは関心があるので、設置可能かどうかを把握できるようなデータがあれば良いと考えている。 →太陽光パネルを設置する際には実際に屋根に上り、角度や日照条件等の状況を考慮してどの程度発電可能かを計算する。屋根置き PV の設置ポテンシャルをアンケート調査で把握するのは難しいのではないかとと思われる。(研究者 B)</li> <li>断熱の現状や省エネ性なども関心があり、その点も把握できれば良いと考えている。一般の家庭にも断熱指標が普及するとよい。</li> </ul> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一日の生活パターンや、購買などの消費生活行動も調査項目にあるとその世帯のカーボンフットプリントの推定などへの活用など発展性が見込</li> </ul>

質問事項	回答内容
	<p>めると思う。</p> <p><b>研究者 E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナ前までは大都市圏のマンションでは、かなりの割合で床暖房が導入されていたが利用率は低かった。コロナ禍で換気の意識が高まったことでエアコンから床暖房にシフトしている傾向が見られている。その点を把握できるようなデータがあると良い。</li> <li>• 普通のガソリン車とハイブリッド車は分けた方が良いのではないか。</li> <li>• 水の消費という観点も、家庭の中でも重要であり、今後、消費量が問題になる可能性もあるので、検討してもらいたい。</li> </ul> <p>→ (後日メールにて) 水の消費は調査の主眼である CO<sub>2</sub> 排出の観点からも無視できない。エネルギー消費と比較しても、水は比較的大きな部分を占めている。計量・課金していることもあり、データとしては電力・ガス等と同等の質を確保できると思う。</p> <p><b>研究者 F</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 断熱性能については、もう少し指標となるデータが欲しいと考えている。例えば慶応義塾大学伊香賀研究室の研究では、断熱性能の判定に関する研究で、チェックリストを用いた質問票を用いている。<sup>1,2</sup></li> </ul> <p>→断熱性能などを一般の方に理解していただくのは難しい。アンケートでのポイントは回答者がしっかりと理解しているかということである。(研究者 E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 集合住宅の場合は住戸位置(角部屋/中間・階数など)が分かると良い。その上で、住戸によって暖冷房の使用状況等に違いがあるかといった点が把握できれば良い。</li> <li>• 住宅構造は鉄筋コンクリート造か鉄骨造かがあった方が良い。</li> <li>• 子供を細分類(就学前後、大学入学前後など)できると良い。</li> </ul> <p>→子供が小さい世帯は1人当たりエネルギー消費量が少ない傾向がある。(研究者 E)</p>
調査設計(調査規模、地域区分)への意見・要望	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アメリカの RECS<sup>3</sup> (Residential Energy Consumption Survey) は、毎年ではないものの、継続して調査が実施されている。多少実施年が空いても調査規模を拡大することも考えられないか。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域全体を良くするという観点から、地域(自治体)特性を把握できるような情報(の粒度)があれば良い。</li> </ul> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域ごとに分析することがないため、サンプルサイズは十分と思う。</li> </ul> <p><b>研究者 E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域や属性などの条件を絞っていくと、サンプル数がどうしても足りないところがある。調査員調査とインターネット調査で傾向に差が見られないのであれば、インターネット調査を増やせないか。サンプル数を増</li> </ul>

<sup>1</sup> 高柳ら：健康維持増進に向けた住環境評価ツールの有効性の検証，日本建築学会環境系論文集 第 76 巻 第 670 号，1101-1108，2011 年 12 月

<sup>2</sup> 海塩ら：個人因子別の家庭血圧上昇量に関する分析－冬季の室内温熱環境が血圧に及ぼす影響の実態調査－，日本建築学会環境系論文集 第 79 巻 第 701 号，571-577，2014 年 7 月

<sup>3</sup> US Energy Information Administration: Residential Energy Consumption Survey, <https://www.eia.gov/consumption/residential/>

質問事項	回答内容
	<p>やす方向でご検討いただきたい。</p> <p>→現状、調査員調査と IM 調査との間には無視できない差があること、また IM 調査の拡充は一昨年度議論になったが、統計の専門家にも相談した結果、見送りとなったことについて、回答済。</p>
<p>公表方法（公表時期、資料内容、集計事項等）についての意見</p>	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経年で継続的に調査されている設問については、データベース上の設問番号を固定していただけるとありがたい。</li> <li>市区町村コードは予め決まっているものなので、それが最初から付いているとありがたい。</li> <li>月別の電気料金やガス料金などが具体的に何月の何日から何日までの料金なのか、把握できると良い。例えば7月のデータの場合、6月15日からの1か月間なのか、7月1日からの1か月間なのかでエネルギー消費傾向は異なる。</li> <li>地域の都市ガス使用状況を判定するために、市区町村それよりも細かい区分でデータが見られるとありがたい。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>速報性に関しては、そこまで重要視していない。市民にとっては去年のデータでも今年のデータでも、初めて見る場合が多いので、そこまで影響はないのではないと思われる。</li> </ul> <p><b>研究者 C</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティ関係のデータに関する集計の公表があれば良い。</li> </ul> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生に個票データの分析を行ってもらうことが難しいことが課題と感じている。オンサイト利用も試したが、申請の手間や作業効率が悪く上手くいかなかった。</li> <li>対外的に発表する場合にも二次利用時の申請者以外の方を著者とできないことになっているため、論文投稿のハードルが高い。</li> <li>月々の変化（設備の買換えなど）から、その後の世帯のエネルギー消費の傾向の変化を分析することも面白いと思うので、例月票の変化に関する項目（問1）も二次利用できるとよい。</li> </ul> <p><b>研究者 F</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国交省の建築物省エネ法の地域区分（8区分）が個票情報として提供されていると使いやすい。</li> <li>統計法の縛りとして、学生は個人の研究としては使えないと認識している。一方、既往文献の引用という点では問題ないと認識している。二次利用申請して分析したものを学会で発表して、そのデータを引用して卒論で使うなどの方法が良いと考えている。</li> </ul>
<p>その他</p>	<p><b>研究者 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭 CO<sub>2</sub> 統計のように、長くデータを取得することで経年変化などの把握や比較など、色々な分析をできるので、是非とも長く続けていただきたい。</li> <li>現時点では EV はまだ普及していないが、早いうちから EV に関するデータを取得しておき、経年変化を把握することは重要ではないか。</li> </ul> <p><b>研究者 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民に省エネへの関心があっても、直接、脱炭素行動に繋がらない場合</li> </ul>

質問事項	回答内容
	<p>もある。データを見たからと言って、行動変容に繋がるとは限らない。環境問題の有識者と自治体の中で議論をし、別の課題を解決しつつ、脱炭素になるような施策を市民と一緒に検討することで、行動変容に積極的にかかわってくれるのではないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けに経年変化などの定量的なデータを示す場合は、データに対して市民が感じる印象と、こちら側の印象とが異なる場合がある。環境意識を持ってもらい、自分事化してもらえよう、その点は上手く伝えるような工夫が必要である。例えばカーボンフットプリントを併せて説明するなどして、自分の行動によって、どのくらいのCO<sub>2</sub>削減余地があるかなどを伝えるのも効果的だと思われる。</li> </ul> <p><b>研究者 D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用研究会内で各研究者が対外的にどのような発表をされているか、事務局で集約して出していただけるとよい（研究会外で報告・投稿されている事例が他にもあるように思う）。</li> <li>業務部門に関して、カーボンニュートラルに向けてサプライチェーン全体の排出まで目を向けた脱炭素の計画を立てている業界が少ないように感じている。</li> </ul> <p><b>研究者 E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の室温はデータとしてしっかり取得されていないと感じている。本来は住宅の環境がどうなっているかを室温とセットで見っていく必要がある。最近はスマートフォンとの連携を上手く活用する方法などもある。また、健康や快適性などの観点からも、室内環境の把握も重要である。</li> </ul> <p><b>研究者 F</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷房を使うのは大きな増エネにならない等といったエビデンスがあるのであれば、しっかりと示すことは重要である。エビデンスを示すことで、特に高齢者は無理な節電を行わなくなり、熱中症対策にもなるのではないかな。</li> </ul>

## (2) 団体

質問事項	回答内容
普段の業務における課題、関心事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の拠点と連携して家庭内への啓発事業や地域の中小企業に対する支援を行っている。</li> <li>家庭の省エネ水準を診断してライフスタイルに応じたアドバイスを実施している。</li> <li>自治体の環境担当者のサポートを行うケースもある。</li> <li>省エネ・省CO<sub>2</sub>対策にどのようなものがあるのかを知っている方は多いが、知識が個人の行動につながっていない。教育や啓発によってどのくらいの人が行動しCO<sub>2</sub>が減っているのかを定量的に把握することが難しい点が課題である。</li> <li>ライフスタイルの変化によって機器の使い方や需要の変化が起こっている事象に対して、効率的な使い方を啓発できるように調査データを活用したい（例えば、コロナに伴い冷凍庫が増えているが、効率的な使い方ができていない懸念がある）</li> </ul>
従来利用してい	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガスインベントリと EDMC エネルギー経済統計要覧が中心と</li> </ul>

質問事項	回答内容
る情報源	<p>なっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭 CO<sub>2</sub>統計も啓発資料作成に活用し始めている。</li> <li>どのような観点で情報発信するかアイデアは一般の方や職員からの意見や、アンケートから得ることもある。</li> </ul>
情報源の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>対策を行っていただく方々の個々のライフスタイルに応じたアドバイスをやりたいが、全国平均を示すに留まってものも多い。</li> <li>同じ地域や同じ世帯属性の中で自分の立ち位置を比較することができるようにしたい。</li> </ul>
家庭 CO <sub>2</sub> 統計の活用可能性・活用理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発用資料用の図表に使用していたデータが古くなってしまい、更新してほしいという声があったため活用できるデータを探している際に紹介された。</li> </ul>
家庭 CO <sub>2</sub> 統計の活用方法・活用成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>当団体で作成して一般公開している図表集の一部に、家庭 CO<sub>2</sub>統計の結果や公表資料の内容（冷蔵庫の製造時期、エアコンの設定温度、年間消費量の機器別構成）を使用している。</li> <li>節電に関する関心が高まっており、「家庭における電力消費量の内訳（年間消費量の機器別構成）」の図は公開後から多くの方がダウンロードしている。</li> </ul>
家庭 CO <sub>2</sub> 統計を活用した感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>データを咀嚼して活用するための時間が足りない。</li> <li>各地域拠点や職員への研修の際に家庭 CO<sub>2</sub> 統計のデータを読み込んでもらい、自分の地域の中でどう啓発に使えるかを考えるような研修を実施することも有効である。</li> </ul>
調査事項への意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業（第一次産業・二次産業・三次産業）があるとよい。</li> <li>省エネを心掛ける理由として「暮らしが豊かになるから」という項目を追加してはどうか。</li> </ul>
調査設計（調査規模、地域区分）への意見・要望	（特になし）
公表方法（公表時期、資料内容、集計事項等）についての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該年度の調査の中で特徴的であった変化を最初に示していただけると紹介しやすい。</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量に多大な影響を与えた要因についてポイントを示していただけると啓発事項を検討する際に参考になる。</li> <li>毎月のエネルギー価格のトレンドとエネルギー消費量の関連性に興味がある。</li> <li>地域別の気温傾向や災害による影響についても関心がある。</li> <li>電気自動車を所有している世帯で、電力消費のどのくらいを電気自動車が占めているのか関心がある。</li> <li>特定の属性に対してどのような対策が効果的かについて事例紹介があるとよい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域拠点の職員の中には家庭 CO<sub>2</sub>統計のようなデータを読み込んで自分たちの地域に合った啓発を考えることが得意な者もいるため、そのような者とセンターが連携して効果的な啓発を考えることを試験的に行うことも可能である。</li> <li>調査に回答していただいた方は家庭のエネルギー消費について関心が高くなっているため、調査終了後などに診断を紹介することができると思う。</li> </ul>

#### 4.1.5 まとめ

##### (1) 要望・意見

ニーズ把握ヒアリングにより得られた主な要望・意見は、以下の通りである。

##### 1) 調査項目

###### i) 設問の新設

- 断熱性能に関する指標
- 詳細な都市ガス普及状況（都市ガス導管敷設状況）
- PV や EV の導入に関連する補助制度の認知状況
- EV の自宅での充電状況
- 自宅の屋根に PV の設置が可能かどうか
- 一日の生活パターン
- 購買などの消費生活行動
- 水の消費量
- 集合住宅内の住戸位置
- 世帯員の職業（第一次産業・二次産業・三次産業）

###### ii) 既存設問の見直し

- 所得階層（年間世帯収入）の細分化
- ガソリン車とハイブリッド車の分離
- 住宅構造の選択肢への鉄筋コンクリート造、鉄骨造の追加
- 世帯員の続柄の選択肢における子供の細分類（就学前後、大学入学前後など）
- 省エネ実施理由への「暮らしが豊かになるから」という選択肢の追加

##### 2) 調査設計・公表

###### i) 調査設計

- 地域（自治体）特性が把握できるような情報（の粒度）

###### ii) 公表方法

- モビリティ関係のデータに関する集計の公表
- 当該年度の調査の中で特徴的であった変化の紹介（CO<sub>2</sub>排出量に多大な影響を与えた要因のポイント）
- 毎月のエネルギー価格のトレンドとエネルギー消費量の関連性の情報
- 地域別の気温傾向や災害による影響に関する情報
- 電気自動車所有世帯における、電力消費量に占める電気自動車電力量の割合に関連する分析
- 属性別の効果的な省エネ省 CO<sub>2</sub> 対策の事例紹介

### iii) 二次利用申請

- 二次利用データベース上の設問番号の調査年度を跨いだ固定
- 二次利用データへの市区町村コードの付与
- 二次利用データへの国交省の建築物省エネ法の地域区分（8区分）の付与
- 電気・ガスの各月の使用開始日および終了日の二次利用データベースへの付与
- 市区町村それよりも細かい区分の住所情報の二次利用データベースへの付与
- 例月票の当該月内の主な変化に関する項目（問1）の二次利用

### 3) 意見

- データを見たからと言って、行動変容に繋がるとは限らない。脱炭素施策を専門家や自治体が市民と一緒に検討することが行動変容に繋がるのではないか。
- 環境意識を持ってもらい、自分事化してもらえるよう、データの見せ方・伝え方を工夫する必要がある。
- 各地域の啓発担当者と連携して効果的な対策を考えることを試験的に行うことも可能。
- カーボンニュートラルに向けてサプライチェーン全体の排出まで目を向けた脱炭素の計画を立てている業界が少ないように感じている。
- 本来は住宅の環境がどうなっているかを室温とセットで見えていく必要がある。

## (2) 課題

調査項目については、これまでのニーズ把握ヒアリングと同様に、住宅の断熱性能に関する指標へのニーズが寄せられた。一方で、断熱性能に係る事実関係を、一般世帯に対して訊くことの難易度は非常に高い。このことは平成30年度業務における検討にて確認しており<sup>4</sup>、現在もその状況に進展は見られていない。一方、住宅のエネルギー消費実態に関する既往研究では、居住者の温熱感覚が調査されており、その有用性に関する実績が蓄積されている。今回のヒアリング調査でも研究者Fよりこの方法の提案があり、2020年度のヒアリング調査でも同様の提案があった<sup>5</sup>。公的統計では事実関係のみが調査対象で、意識を調査することができないという制約があるため、温熱感覚をそのまま調査することはできないものの、有用であることが実績として示されており、尚且つ一般世帯が回答可能な項目であるということの意義は大きい。感覚を直接訊かない方法で、温熱環境の評価が可能な訊き方を検討することは一案と考えられる。

また、家庭CO<sub>2</sub>統計が本来主眼を置いている、世帯当たりエネルギー消費量およびそれに起因するCO<sub>2</sub>排出量とは異なる観点を持った項目について希望が寄せられていることも、過年度のニーズ把握ヒアリングと同様である。家庭CO<sub>2</sub>統計の設計上、こういった項目の追加について優先順位を上げることは困難であると考えられる。一方で、昨今は、特定の部門内のエネルギー消費構造並びにCO<sub>2</sub>排出構造を分析するだけでなく、よりスコープを広げたCO<sub>2</sub>排出のフットプリン

<sup>4</sup> 環境省：平成30年度家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査事業委託業務（平成29年度調査分の集計等）報告書、p.48-49、（2019年3月）<https://www.env.go.jp/content/900446903.pdf>

<sup>5</sup> 環境省：令和2年度家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査事業委託業務（令和3年度調査分の準備等）報告書、p.20、（2021年3月）<https://www.env.go.jp/content/900446914.pdf.pdf>

トに目を向けることの重要性が増してきている。この点は、「カーボンニュートラルに向けてサプライチェーン全体の排出まで目を向けた脱炭素の計画を立てている業界が少ないように感じている」という研究者 D からの意見からも窺える。そういった視点に立脚した項目（例えば、購買などの消費生活行動）は、そのような潮流において意義のある調査項目となり得る。近年は、エネルギー貧困の問題やエネルギーの公正な移行に関する問題等、調査設計時には想定していなかったような研究分野において家庭 CO<sub>2</sub> 統計が活用されてきている<sup>6,7</sup>。そのことを踏まえると、家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出構造分析を主軸に据えつつも、これからは、時代のニーズに応じた調査項目を検討し、家庭 CO<sub>2</sub> 統計の意義を拡張していくこともまた、重要になってきているものと考えられる。

また過年度のヒアリングでは、様々な自治体から、自治体職員が理解できるような分かりやすい資料の公表に関する要望や、地方別値ではなく自分たちの自治体の値が得られることを統計的な正しさよりも優先したいという意見を伺ってきた<sup>8</sup>。しかし、公的統計という性質上、公表においては統計的正確さが必須となるため、家庭 CO<sub>2</sub> 統計の公表仕様を、自治体のニーズに寄り添ったものにするのは困難である。一方で今年度のヒアリングにおいては、「各地域の啓発担当者と連携して効果的な対策を考えることを試験的に行うことも可能」という提案を受けた。統計の公表とは別に、そのような普及啓発のための連携ができれば、家庭 CO<sub>2</sub> 統計を自治体や市民に向けて発信できる可能性が広がると考えられる。そのような連携の模索も、今後は重要と考えられる。

---

<sup>6</sup> Okushima, S.: “Energy poor need more energy, but do they need more carbon?” USAEE Working Paper, No. 20-458 (2020).

<sup>7</sup> Nan Wang: “Just Transition and household energy poverty in Japan” 第 41 回エネルギー・資源学会研究発表会講演論文集, no.1-3, p.12-17 (2022 年 8 月)

<sup>8</sup> 例えば、環境省：令和 2 年度家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査事業委託業務（令和 3 年度調査分の準備等）報告書, p.23-26, (2021 年 3 月) <https://www.env.go.jp/content/900446914.pdf.pdf>

## 4.2 e-Stat のデータベース化

### (1) e-stat データベースの使用目的

政府統計のポータルサイト「e-Stat」上で、これまではエクセルファイルの約 700 の統計表を掲載してきた。e-Stat データベースは、この統計表をデータベース形式で登録することで、e-Stat 上で、表頭・表側項目や対象地域を選択して、統計表を整表できるものである。

### (2) 今年度の業務範囲

令和 2 年度調査の全国版と地方版の全ての統計表を対象に、データベース登録を行った。

### (3) e-Stat データベースへの登録方法

e-Stat データベースの登録は、データベースの登録メニューに加えて、エクセルマクロでの業務支援ツールが、統計センターにより用意されている。これらの機能を組み合わせて、約 700 の統計表の効率的な登録を行うことを念頭に、データベース設計と作業手順の定義を行った。

#### <データベースの設計>

データベースの設計では、登録すべきデータの種別とそのパターンを整理し、登録に必要なテーブル内容と構造を定義した。

- 登録すべきエクセルファイル数
  - 全国：第 1 表～第 7 表 67 表 =67 表
  - 10 地方：第 1 表～第 7 表 67 表 =670 表 ⇒全 737 表
- 表側のパターンを分析し、登録すべき表側テーブルを定義
- 表頭のパターンを分析し、登録すべき表頭テーブルを定義
- 地方区分、単位などの付帯情報を分析し、登録すべき欄外テーブルを定義

#### <データベース登録の作業手順>

登録すべきテーブルの構成を踏まえて、作業手順を定義した。

- 全国版統計表で使用する分類事項テーブルの登録
  - 表側テーブル、表頭テーブル、単位テーブル
- 全国版の統計表ファイルの登録
  - e-stat から DB 連携で自動設定
- 全国版の統計表分のデータベースの登録
- 全国版の統計表分のパラメータファイルの登録
  - 分類事項テーブルと統計表ファイル、データベースをつなぐパラメータを設定
- 全国版の統計表分のデータベースへのデータロード
  - e-stat 上にデータベースが表示される
- 地方版統計表で使用する分類事項テーブルの登録
  - 表側テーブル、表頭テーブル、単位テーブル

- 地方版の統計表ファイルの登録  
e-stat から DB 連携で自動設定
- 地方版の統計表分のデータベースの登録
- 地方版の統計表分のパラメータファイルの登録  
分類事項テーブルと統計表ファイル、データベースをつなぐパラメータを設定
- 地方版の統計表分のデータベースへのデータロード  
e-stat 上にデータベースが表示される

#### (4) 登録データベースへの検査方法

e-Stat データベースに登録したデータについて、以下の方法で検査を行った。

##### <全国版データベースの検査>

- e-stat に登録した全 67 個のデータベースから、それぞれ全データをダウンロードし、e-Stat に登録されている統計表エクセルと以下が一致しているかを確認した。

表頭の記載内容

表側の記載内容

単位

任意の 1 列のすべてのデータ

任意の 1 行のすべてのデータ

##### <地方版データベースの検査>

- e-stat に登録した 67 表×10 地方=670 個のデータベースから、1 地方につき 7 個程度として 67 個のデータベースから、それぞれ全データをダウンロードし、e-Stat に登録されている統計表エクセルと以下が一致しているかを確認した。

表頭の記載内容

表側の記載内容

単位

任意の 1 列のすべてのデータ

任意の 1 行のすべてのデータ

#### (5) データベース登録作業の所用期間

e-Stat データベースへの登録作業では、登録作業に約 4 ヶ月、検査に約 2 ヶ月の期間を要した。

- 全国版データベース収録：令和 4 年 8～11 月
- 全国版データベース検査：令和 4 年 12 月
- 地方版データベース収録：令和 4 年 8～11 月
- 地方版データベース検査：令和 5 年 1 月



## 参考資料

令和5年度	家庭部門のCO <sub>2</sub> 排出実態統計調査	調査票	
(1)	エネルギー使用量調査票	4月票	37
(2)	エネルギー使用量調査票	例月票	47
(3)	夏季調査票	<8月末時点>	53
(4)	冬季調査票	<2月末時点>	67
回答の手引き			73



(1) エネルギー使用量調査票 4月票



					—		
--	--	--	--	--	---	--	--



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



一般統計調査

環境省

**4月**

家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査  
エネルギー使用量調査票  
＜令和5年4月分＞

I. 4月末時点の世帯の状況についてお伺いします。

問1 4月末時点で、あなたのお宅に居住している方（あなた自身を含める）は何人ですか。

※単身赴任や下宿等で、ふだんお宅に同居していない方は除きます。

【数値を記入】

人
---

問2 問1でお答えの居住者について、世帯主からみた続柄、年齢、就業状態をお答えください。

※1人目は世帯主についてお答えください（世帯主が同居していない場合を除く）。

※続柄については世帯主からみた続柄をお答えください。

※続柄の「親」「祖父母」「他の親族」は、それぞれ配偶者の「親」「祖父母」「他の親族」を含みます。

※在宅勤務とは、自宅を就業場所として働く勤務形態のことをいいます。自宅以外の場所での就業は除きます。

※学生・生徒がアルバイトをしている場合の就業状態は「就業者でない」とお答えください。

※二世帯住宅の場合は、電気の契約者を世帯主としてお答えください。

※横1列内に、続柄→年齢→就業状態の順でひとりずつお答えください。

	世帯主からみた続柄							年齢									就業状態			
	【一つに○】							【一つに○】									【一つに○】			
	世帯主	世帯主の配偶者	子・子の配偶者	親	祖父母	孫	その他	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	(在宅勤務あり) 就業者	(在宅勤務なし) 就業者	就業者でない	
例	1人目	①	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	①	2	3
	2人目		②	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	1	2	③
	1人目	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	2人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	3人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	4人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	5人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	6人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	7人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	8人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	9人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
	10人目		2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3

↓問4へお進みください

問3 問2の就業状態で「1 就業者（在宅勤務あり）」とお答えの世帯主について、4月末時点での平均的な在宅勤務日数と在宅勤務時間をお答えください。

※在宅勤務とは、自宅を就業場所として働く勤務形態のことをいいます。自宅以外の場所での就業は除きます。

平均的な在宅勤務日数 【数値を記入】	1 週間のうち	日
1 日の平均的な在宅勤務時間 【一つに〇】	1 4時間未満	2 4時間～6時間未満
	3 6時間～8時間未満	4 8時間～10時間未満
	5 10時間以上	

問4 お宅では、ふだん平日の昼間に在宅者がいますか。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに〇】

1 ほぼ毎日いる	2 週3～4日いる
3 週1～2日いる	4 ほとんどいない

## II. 4月末時点のお住まいの状況についてお伺いします。

問5 お住まいの建て方をお答えください。

※隣世帯と壁を共有して建てられた長屋建、テラスハウスは集合住宅とお答えください。

【一つに〇】

1 戸建住宅	2 集合住宅（マンション、アパート、長屋、テラスハウス）
--------	------------------------------

問6 お住まいの構造をお答えください。

※木造と木造以外を組み合わせた構造は、「木造以外」とお答えください。

【一つに〇】

1 木造	2 木造以外（鉄筋コンクリート造、鉄骨造など）
------	-------------------------

問7 お住まいの建築時期をお答えください。

【一つに〇】

1 1970（昭和45）年以前	2 1971～1980（昭和46～55）年
3 1981～1990（昭和56～平成2）年	4 1991～2000（平成3～12）年
5 2001～2005（平成13～17）年	6 2006～2010（平成18～22）年
7 2011～2015（平成23～27）年	8 2016～2020（平成28～令和2）年
9 2021（令和3）年以降	10 わからない

問 8 お住まいの所有関係をお答えください。

【一つに〇】

1	持ち家・分譲（住宅、マンション）
2	民営の賃貸住宅
3	公営（都道府県・市区町村営）、公社または都市再生機構（UR）の賃貸住宅
4	給与住宅（社宅、公務員住宅など）

問 9 へお進みください

問 8-2 問 8 で 1 とお答えの持ち家・分譲（住宅、マンション）について、2010（平成 22）年 1 月以降に、以下に示す箇所の改修工事（リフォーム）を行ったことがありますか。

【それぞれ一つに〇】

	断熱性・省エネ性の向上を目的とした改修工事を行ったことがある	その他の目的（補修、更新、耐震補強等）で改修工事を行ったことがある	改修工事を行ったことはない
窓	1	2	3
壁	1	2	3
床	1	2	3
天井・屋根	1	2	3

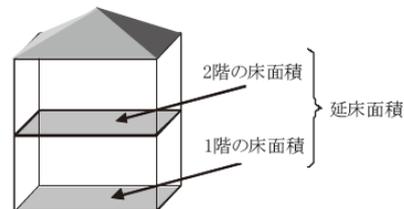
問 9 お住まいの延床面積をお答えください。

※延床面積とは、建物の各階の床面積の合計です。敷地面積、建築面積ではありません。  
 ※アパート・マンションなどの集合住宅の場合は、専有部の床面積をお答えください。  
 ※延床面積の単位は㎡（平方メートル）、あるいは坪数でお答えください。

【数値を記入】

㎡
 あるいは
  坪

※1坪は約 3.3 ㎡です。



問 10 お住まいの居室数をお答えください。

※食事室兼台所（ダイニング・キッチン）、居室兼食事室兼台所（リビング・ダイニング・キッチン）は居室に含めます。同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している室も含めます。（例：3LDK⇒居室数 4 室、2DK⇒居室数 3 室）  
 ※食事室のない台所（キッチン）は居室に含めません。（例：1K⇒居室数 1 室）

【数値を記入】

室

問 11 お住まいには、二重サッシまたは複層ガラスの窓はありますか。

【一つに〇】

1	すべての窓にある	2	一部の窓にある
3	ない	4	わからない

Ⅲ. 機器・設備についてお伺いします。

問 12 お宅での家庭用エネルギー管理システム（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）の導入状況についてお答えください。

※HEMSとは、エネルギー使用状況を専用の画面やパソコン、スマートフォンなどに表示することなどにより、家庭における省エネルギーを支援するシステムのことを言います。家電機器などの最適運転を行う機能をもつものもあります。

【一つに〇】

- |          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| 1 導入している | 2 導入していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

問 13 お宅での家庭用蓄電システムの使用状況についてお答えください。

※家庭用蓄電システムとは、電力会社から購入する電気や太陽電池等で発電された電気を充電して、必要な時に家庭内の電気機器に電気を供給するシステムです。V2H（自動車に蓄えた電気を家庭内に供給して使うシステム）を含みます。

※アパート・マンションなどの集合住宅の場合、共用部などに設置されているものは含みません。

【一つに〇】

- |          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| 1 使用している | 2 使用していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

問 14 お宅では、家庭用燃料電池（エネファーム）、ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）、ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）を使用していますか。

【一つに〇】

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1 家庭用燃料電池（エネファーム）   | 2 ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル） |
| 3 ガスエンジン発電・暖房器（コレモ） | 4 いずれも使用していない         |

↓  
問 15へお進みください

問 14-2 問 14 でお答えの設備について、余った電気を売却（売電）する契約をしていますか。

※太陽光発電による売電とは異なります。

【一つに〇】

- |        |         |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

IV. エネルギーの使用状況についてお伺いします。

問 15 お宅での4月分の電気の使用状況をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】	使用期間 【数値を記入】	
	※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。			
電気	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円	月 日から	月 日まで

(注1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

問 15-2 お宅が契約している電力会社をお答えください。

【一つに〇】

1 北海道電力	7 中国電力
2 東北電力	8 四国電力
3 東京電力エナジーパートナー	9 九州電力
4 北陸電力	10 沖縄電力
5 中部電力ミライズ	11 その他
6 関西電力	(会社名: )

問 15-3 お宅では、電力会社との契約で、再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電、水力発電等）の利用等により CO<sub>2</sub> 排出量ゼロの契約プランを選択していますか（同様のオプション契約を追加している場合も含まれます）。

※該当するプラン（オプション）の名称に「グリーン」、「再エネ」、「自然」、「CO<sub>2</sub>フリー」、「カーボンフリー」、「100」などの語句が含まれるのが一般的です。

【一つに〇】

1 選択している	2 選択していない	3 わからない
----------	-----------	---------

問 16 お宅での4月の太陽光発電の使用の有無をお答えください。使用が有る場合は発電・売却（売電）の電力量、受領金額、太陽電池の総容量をお答えください。

※集合住宅の共用部に電力を供給するものを除きます。

	使用 【一つに〇】	電力量 【数値を記入】	受領金額 【数値を記入】
太陽光発電	1 有	発電 (注1) 千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
	2 無	売却 (売電) (注2) 千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	
		太陽電池の総容量 (注) 【数値を記入】 + - □ □ . □ kW	

問 17 へお進みください

(注1) 表示モニタなどをもとにお答えください。

売却（売電）と期間が整合しなくても構いません。

(注2) 「4月分」の検針票をもとにお答えください。

(注) 太陽電池の総容量は、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで記入してください。

問 17 お宅での 4 月時点のガスの契約の有無をお答えください。契約している場合は 4 月分の使用量、ガス料金、使用期間とガスの種類、ガス会社の名称をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4 月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	契約 【一つに〇】	ガス使用量 (注1) 【数値を記入】	ガス料金 (注2) 【数値を記入】
ガス	1 有	百 十 一 □ □ □ . □ m <sup>3</sup>	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
	2 無	使用期間【数値を記入】	
		月 日 ~	月 日

問 18 へお進みください

(注 1) LP ガスの使用量は、小数点第 1 位までお答えください(整数で記載されている場合を除く)。  
(注 2) ガス料金と一緒に電気料金や他の燃料代 (灯油等)、警報器リース料金等が請求されている場合は、それらをガス料金に含めないでください。

	【一つに〇】	
ガスの種類	1 都市ガス	2 LP (プロパン) ガス

	【名称を記入】
ガス会社名 (注)	

(注) 例) ○○ガス、△△市ガス局

問 18 お宅での 4 月中の灯油の購入の有無をお答えください。購入が有る場合は、購入量と支払金額をお答えください。

※4 月中に複数回購入した場合は、合計値を記入してください。

※主に事業用に使用するものを除きます。

	購入【一つに〇】		有の場合	購入量【数値を記入】	支払金額【数値を記入】
	有	無			
灯油	1	2		百 十 一 □ □ □ . □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円

問 19 お宅での4月中のガソリンおよび軽油の購入の有無を、あなた以外の居住者の分も含めてお答えください。購入が有る場合は、それぞれ購入量と支払金額をお答えください。

※あなた以外の居住者も含め、居住者全員分の購入についてお答えください。

※主に事業用に使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。

※レンタカーなど、一時的に利用した車両のための購入を除きます。

※4月中に複数回購入した場合は、全てを記入してください。5件以上ある場合は、5件目以降の合計値を5件目の回答欄に記載してください。

※軽自動車用の燃料はガソリンです。

	購入【一つに○】		有の場合	購入量【数値を記入】	支払金額【数値を記入】																																																												
	有	無																																																															
ガソリン	1	2	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>百</th> <th>十</th> <th>一</th> <th>リットル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□.□□</td> </tr> </tbody> </table>	百	十	一	リットル	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	<table border="1"> <thead> <tr> <th>万</th> <th>千</th> <th>百</th> <th>十</th> <th>一</th> <th>円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> </tr> </tbody> </table>	万	千	百	十	一	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
百	十	一	リットル																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
万	千	百	十	一	円																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												

	購入【一つに○】		有の場合	購入量【数値を記入】	支払金額【数値を記入】																																																												
	有	無																																																															
軽油	1	2	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>百</th> <th>十</th> <th>一</th> <th>リットル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□.□□</td> </tr> </tbody> </table>	百	十	一	リットル	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	□	□	□	□.□□	<table border="1"> <thead> <tr> <th>万</th> <th>千</th> <th>百</th> <th>十</th> <th>一</th> <th>円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> </tr> </tbody> </table>	万	千	百	十	一	円	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
百	十	一	リットル																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
□	□	□	□.□□																																																														
万	千	百	十	一	円																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												
□	□	□	□	□	□																																																												

注) 軽自動車用の燃料はガソリンです。

## V. その他

問 20 お宅では4月中に、旅行等で5日間以上、居住者全員が不在になることがありましたか。

【一つに○】

1 あった	2 なかった
-------	--------

問 21 お宅では以下の状況に該当する方（あなた自身を含める）はいますか。

※該当する方が一人でもいる場合「いる」と回答してください。

【それぞれ一つに○】

	いる	いない
光熱費を節約するため、省エネを心がけている方	1	2
地球温暖化対策のため、省エネを心がけている方	1	2
他の世帯が省エネ行動をしているため、省エネを心がけている方	1	2
上記以外の理由で省エネを心がけている方	1	2
明確な理由はないが、省エネを心がけている方	1	2

※ここでいう省エネとは、日常の生活の中で電気やガスなどのエネルギーを無駄にしないようにすることをいいます。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(2) エネルギー使用量調査票 例月票





問2 お宅での〇月分の電気の使用状況をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「〇月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	電気使用量【数値を記入】 ※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。	電気料金(注1)【数値を記入】	使用期間【数値を記入】	
電気	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円	月 日 から	月 日まで

(注1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

問3 お宅での〇月の太陽光発電の使用の有無をお答えください。使用が有る場合は発電・売却(売電)の電力量、受領金額をお答えください。

※集合住宅の共用部に電力を供給するものを除きます。

	使用【一つに〇】		電力量【数値を記入】	受領金額【数値を記入】
太陽光 発電	1 有 2 無	発電(注1)	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	/
		売却(売電)(注2)	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	

問4 へお進みください (注1) 表示モニタなどをもとにお答えください。売却(売電)と期間が整合しなくても構いません。  
(注2) 「〇月分」の検針票をもとにお答えください。

問4 お宅での〇月時点のガスの契約の有無をお答えください。契約している場合は〇月分の使用量、ガス料金、使用期間をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「〇月分」と記載されている検針票をもとにお答えください。

	契約【一つに〇】	ガス使用量(注1)【数値を記入】	ガス料金(注2)【数値を記入】
ガス	1 有 2 無	百 十 一 □ □ □ . □ m <sup>3</sup>	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
		使用期間【数値を記入】	
		月 日 ~	月 日

問5 へお進みください

(注1) LPガスの使用量は、小数点第1位までお答えください(整数で記載されている場合を除く)。  
(注2) ガス料金と一緒に電気料金や他の燃料代(灯油等)、警報器リース料金等が請求されている場合は、それらをガス料金に含めないでください。

問5 お宅での〇月中の灯油の購入の有無をお答えください。購入が有る場合は、購入量と支払金額をお答えください。

※〇月中に複数回購入した場合は、合計値を記入してください。

※主に事業用に使用するものを除きます。

	購入【一つに〇】		有の場合	購入量【数値を記入】	支払金額【数値を記入】
	有	無		百 十 一 □ □ □ . □ リットル	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円
灯油	1	2			

問6 お宅での〇月中のガソリンおよび軽油の購入の有無を、あなた以外の居住者の分も含めてお答えください。購入が有る場合は、それぞれ購入量と支払金額をお答えください。

※あなた以外の居住者も含め、居住者全員分の購入についてお答えください。

※主に事業用を使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。

※レンタカーなど、一時的に利用した車両のための購入を除きます。

※〇月中に複数回購入した場合は、全てを記入してください。5件以上ある場合は、5件目以降の合計値を5件目の回答欄に記載してください。

※軽自動車用の燃料はガソリンです。

	購入【一つに〇】		有の場合	購入量【数値を記入】		支払金額【数値を記入】					
	有	無		百	十	一	万	千	百	十	一
ガソリン	1	2	→	□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円

	購入【一つに〇】		有の場合	購入量【数値を記入】		支払金額【数値を記入】					
	有	無		百	十	一	万	千	百	十	一
軽油	1	2	→	□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円
				□□□	●	□□	リットル	□□□□□	□□□□□	□□□□□	円

注) 軽自動車用の燃料はガソリンです。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。



(3) 夏季調査票 <8月末時点>



--	--	--	--	--	--



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



一般統計調査

環境省

家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査  
 夏季調査票  
 <令和 5 年 8 月末時点>

I. 家電製品などについてお伺いします。

問 1 お宅でのテレビの使用台数をお答えください。

※月に 1 回以上使用するものをお答えください。テレビ番組の視聴に限らず、DVD・動画などの鑑賞やテレビゲームでの使用などを含みます。テレビの見られるパソコンなどは含みません。  
 ※保有していない場合や使用していない場合も空欄とせず、必ず「0」とご記入ください。

【数値を記入】

台
---

→ 0 台の場合は、問 4 へお進みください

問 2 テレビの種類、画面サイズ、製造時期（確認できない場合は購入時期で可※）をお答えください。

※中古品を購入してお使いの場合や、譲り受けたものをお使いの場合は、製造時期をお答えください。  
 ※製造時期については、製品本体のラベルや保証書などでお確かめください。

	種類 【一つに〇】				画面サイズ 【数値を記入】	製造時期（購入時期） 【一つに〇】						
	液晶	プラズマ	有機EL	その他		2000年 以前  (平成12年 以前)	2001年 ～ 2005年  (平成13年 ～17年)	2006年 ～ 2010年  (平成18年 ～22年)	2011年 ～ 2015年  (平成23年 ～27年)	2016年 ～ 2020年  (平成28年 ～令和2年)	2021年 以降  (令和3年 以降)	わからない
1台目 (注)	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7
2台目	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7
3台目	1	2	3	4	型	1	2	3	4	5	6	7

(注)最も使用時間が長いものを 1 台目にお答えください。

問2-2 1台目のテレビについて、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※テレビ番組の視聴に限らず、DVD・動画などの鑑賞やテレビゲームでの使用などを含めてお答えください。  
 ※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

1	1時間未満	2	1時間～2時間未満	3	2時間～4時間未満
4	4時間～8時間未満	5	8時間～12時間未満	6	12時間～16時間未満
7	16時間以上				

問3 お宅でのテレビに関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用している場合は、1台目（最も使用時間が長いもの）についてお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施している	実施していない
テレビの明るさを抑えている	1	2
テレビを使用しないときは主電源をオフにしている	1	2

問4 お宅での冷蔵庫（冷凍庫を含む）の使用台数をお答えください。

※保有していない場合や使用していない場合も空欄とせず、必ず「0」とご記入ください。

【数値を記入】

台

→ 0台の場合は、問7へお進みください

問5 冷蔵庫（冷凍庫を含む）の種類、内容積、製造時期（確認できない場合は購入時期で可※）をお答えください。

※中古品を購入してお使いの場合や、譲り受けたものをお使いの場合は、製造時期をお答えください。

※内容積・製造時期については、製品本体のラベルや保証書などでお確かめください。

	種類 【一つに○】			内容積 【数値を記入】	製造時期（購入時期） 【一つに○】						
	冷凍冷蔵庫 (注)	冷蔵庫 (注)	冷凍庫		2000年 以前  (平成12年 以前)	2001年 ～ 2005年  (平成13年 ～17年)	2006年 ～ 2010年  (平成18年 ～22年)	2011年 ～ 2015年  (平成23年 ～27年)	2016年 ～ 2020年  (平成28年 ～令和2年)	2021年 以降  (令和3年 以降)	わからない
1台目 (注)	1	2	3	リットル	1	2	3	4	5	6	7
2台目	1	2	3	リットル	1	2	3	4	5	6	7

(注)最も内容積の大きいものを1台目にお答えください。

(注)「冷凍冷蔵庫」とは、冷蔵室および冷凍専用室がそれぞれ1つ以上あるものを言います。

(注)「冷蔵庫」とは、冷凍専用室がないものを言います。

問6 お宅での冷蔵庫（冷凍庫を含む）に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用している場合は、1台目（最も内容積が大きいもの）についてお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施している	実施していない
冷蔵庫の温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている	1	2
冷蔵庫に物をつめこみ過ぎないようにしている	1	2
冷蔵庫を開けたままにしたり、むやみに開閉しないようにしている	1	2

問7 お宅でのエアコンの使用台数をお答えください。

※現在保有していて、年間を通じて1回以上使用するものをお答えください。

※マルチエアコン（室外機1台に対して室内機が複数台あるエアコン）については室内機の使用台数をお答えください。

※保有していない場合や使用していない場合も空欄とせず、必ず「0」とご記入ください。

【数値で記入】

台
---

→ 0台の場合は、問11へお進みください

問8 エアコンの種類、製造時期（確認できない場合は購入時期で可※）をお答えください。

※賃貸住宅や中古で購入した住宅にお住まいで元々設置されていたものをお使いの場合、中古品を購入してお使いの場合、譲り受けたものをお使いの場合は、製造時期をお答えください。

※製造時期については、製品本体のラベルや保証書などでお確かめください。

	種類【一つに○】		製造時期（購入時期）【一つに○】						
	冷房と暖房ができる	冷房のみ	2000年以前 (平成12年以前)	2001年～2005年 (平成13年～17年)	2006年～2010年 (平成18年～22年)	2011年～2015年 (平成23年～27年)	2016年～2020年 (平成28年～令和2年)	2021年以降 (令和3年以降)	わからない
1台目(注)	1	2	1	2	3	4	5	6	7
2台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7
3台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7
4台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7
5台目	1	2	1	2	3	4	5	6	7

(注) 夏に最も使用時間の長いものを1台目にお答えください。夏に使用しない場合は夏以外で最も使用時間が長いものを1台目にお答えください。

問8-2 1台目のエアコンについて、暑い時期（8月頃）の、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

1	0時間（使用しない）	2	2時間未満	3	2時間～4時間未満
4	4時間～8時間未満	5	8時間～12時間未満	6	12時間～16時間未満
7	16時間～24時間未満	8	24時間（一日中）		

→ 問11へお進みください

問 8-3 1台目のエアコンについて、冷房時の設定温度をお答えください。

※設定温度をよく変更する場合は、平均的な温度をお答えください。

【数値を記入】

°C
----

問 9 お宅でのペットのためのエアコン（冷房）の使用についてお答えください。

【一つに〇】

1 ペットのために使用する	2 ペットのためには使用しない	3 ペットはいない
---------------	-----------------	-----------

問 10 お宅でのエアコンに関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用の場合は、1台でも実施していれば「実施している」とお答えください。

【それぞれ一つに〇】

	実施している	実施していない
エアコンの室外機の吹き出し口に物を置かないようにしている	1	2
冷房時にすだれやブラインドなどで日射をさえぎるようにしている	1	2

問 11 お宅での以下に掲げる家電製品などの使用の有無をお答えください。使用している機器に関しては使用台数をお答えください。

※現在保有していて、年間を通じて1回以上使用するものをお答えください。

	使用 【一つに〇】		有の 場合	使用台数 【数値を記入】		使用 【一つに〇】		有の 場合	使用台数 【数値を記入】
	有	無				有	無		
洗濯機 (乾燥機能なし)	1	2	→	台	電気ポット	1	2	→	台
洗濯機 (乾燥機能付)	1	2	→	台	ウォーターサーバー(注)	1	2	→	台
衣類乾燥機(電気)	1	2	→	台	温水洗浄便座	1	2	→	台
衣類乾燥機(ガス)	1	2	→	台	暖房便座(温水 洗浄機能なし)	1	2	→	台
浴室乾燥機	1	2	→	台	加湿器	1	2	→	台
食器洗い乾燥機	1	2	→	台	除湿機	1	2	→	台
食器乾燥機	1	2	→	台	空気清浄機	1	2	→	台
電子レンジ	1	2	→	台	パソコン	1	2	→	台
ガスオーブン	1	2	→	台	ビデオレコーダー (DVD・ブルーレイを 含む)	1	2	→	台
電気炊飯器	1	2	→	台	インターネットモデム・ インターネットルーター	1	2	→	台
ガス炊飯器	1	2	→	台					

問 11-2 問 11 で洗濯機（乾燥機能付）、衣類乾燥機（電気）、衣類乾燥機（ガス）、浴室乾燥機を 1 台以上使用していると回答した方にお聞きします。

洗濯後の衣類の乾燥に、乾燥機能をどの程度使っていますか。

※年間を通じた平均的な使い方をお答えください。

【一つに〇】

1 週 5 回以上	2 週 3～4 回
3 週 1～2 回	4 週 1 回未満

問 12 お宅で使用している設備・機器についてお答えください。

※現在保有していて、年間を通じて 1 回以上使用するものをお答えください。

【あてはまるものすべてに〇】

1 犬・猫などのペットの電気式自動給水器	2 水槽用保温ヒーター（熱帯魚など）
3 水槽用ライト（熱帯魚など）	4 水槽、池の水のろ過用ポンプ
5 いずれも使用していない	

問 13 お宅での家電製品に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※複数台使用の場合は、1 台でも実施していれば「実施している」とお答えください。

※当該製品を保有していない、使用していない、設定ができない場合は「該当しない」とお答えください。

【それぞれ一つに〇】

	実施している	実施していない	該当しない
温水洗浄便座の温水の設定温度を低めにしている	1	2	3
冬以外は暖房便座機能を使用しない	1	2	3
パソコンを使用しないときは電源を切るか低電力モード（“スリープ”等）に切り替えている	1	2	3
炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている	1	2	3

問 14 お家でふだんお使いになる照明について、以下の場所ごとに使用している照明の種類をお答えください。

※スタンド照明や机に組み込まれた照明を除きます。

※居室が1部屋の場合は、「個室」ではなく「居間」としてお答えください。

※該当する場所がお宅にない場合は「該当しない」とお答えください。

【それぞれあてはまるものすべてに○】

	白熱電球	蛍光灯	LED	その他	種類不明の照明	該当しない
居間	1	2	3	4	5	
食卓・食事室	1	2	3	4	5	6
台所	1	2	3	4	5	6
個室	1	2	3	4	5	6
その他の場所	1	2	3	4	5	6

居間で複数の種類の照明を使用している場合のみ、問 14-2 もお答えください

問 14-2 居間で複数の種類の照明をお使いの場合、最も使用時間の長いものをお答えください。

【一つに○】

1 白熱電球	2 蛍光灯	3 LED
4 その他（具体的に：	5 種類不明の照明	

問 15 問 14 でお答えいただいた居間の照明について、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

※居間で複数の種類を使用している場合は、問 14-2 でお答えいただいた照明についてお答えください。

【一つに○】

1 2時間未満	2 2時間～4時間未満	3 4時間～6時間未満
4 6時間～8時間未満	5 8時間～12時間未満	6 12時間以上

問 16 お宅での照明に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※1箇所でも実施していれば「実施している」とお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施している	実施していない	調整できない
状況に応じて照明の明るさを調整している（減灯や自動調光機能の利用を含む）	1	2	3
短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている	1	2	

II. お宅での給湯の状況についてお伺いします。

問 17 お宅にある入浴・洗面用や台所用の給湯器・給湯システムをお答えください。

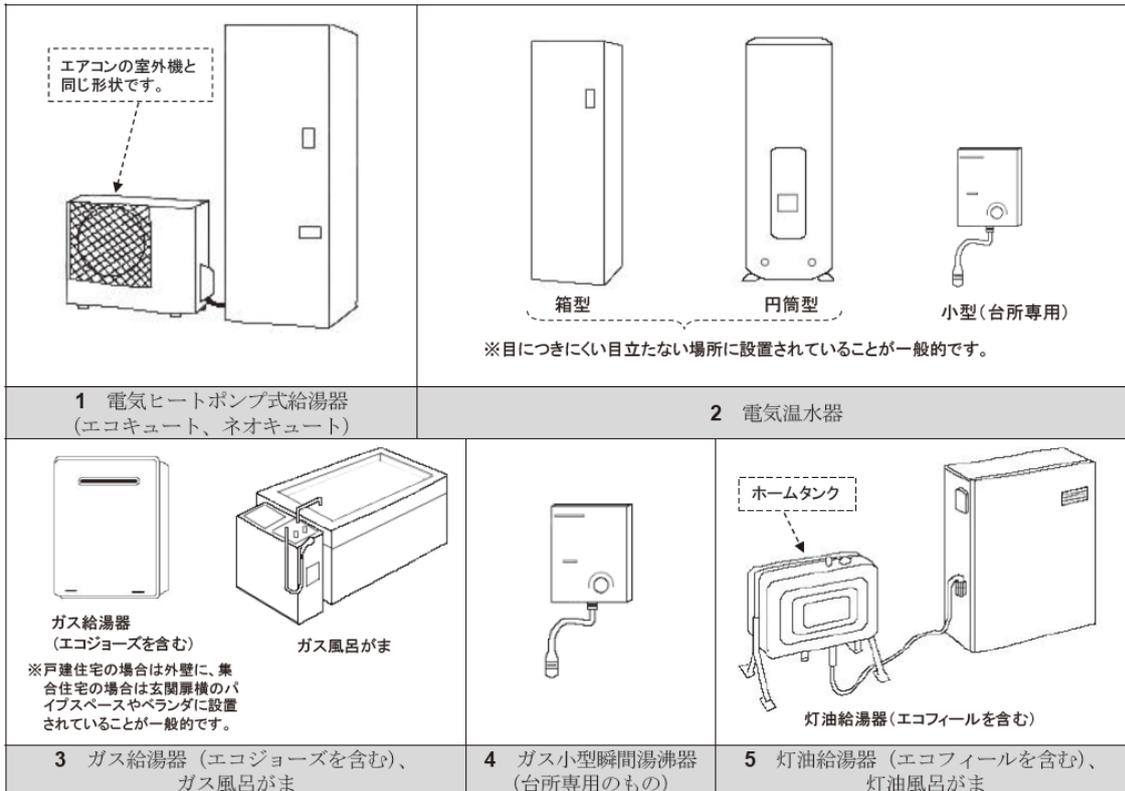
※故障しているもの、他の世帯と共用のもの、集合住宅の共用部に設置されるものなどを除きます。  
 ※下記の給湯器・給湯システムの一例を参考にしてください。

【あてはまるものすべてに○】

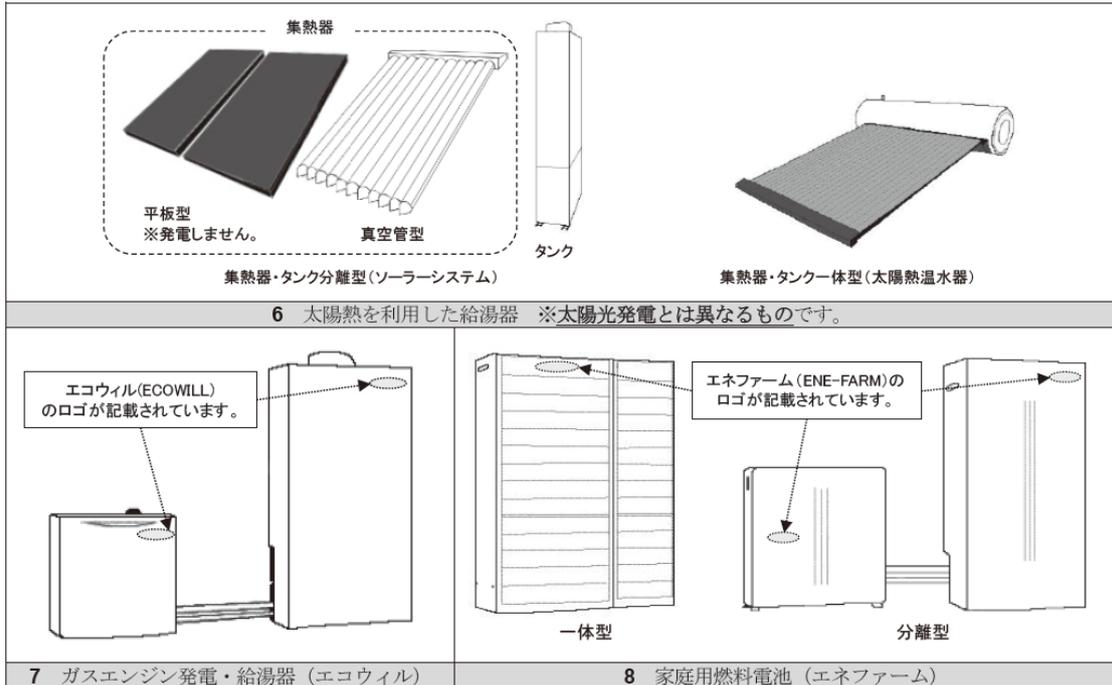
- |    |                              |
|----|------------------------------|
| 1  | 電気ヒートポンプ式給湯器 (エコキュート、ネオキュート) |
| 2  | 電気温水器                        |
| 3  | ガス給湯器 (エコジョーズを含む)、ガス風呂がま     |
| 4  | ガス小型瞬間湯沸器 (台所専用のもの)          |
| 5  | 灯油給湯器 (エコフィールを含む)、灯油風呂がま     |
| 6  | 太陽熱を利用した給湯器 (注)              |
| 7  | ガスエンジン発電・給湯器 (エコウィル)         |
| 8  | 家庭用燃料電池 (エネファーム)             |
| 9  | その他 (具体的に : )                |
| 10 | 自宅でお湯は出ない (給湯器・給湯システムはない)    |

(注) 太陽熱が不足する際に使用する機器 (補助ボイラ等) についてもお答えください (太陽熱給湯の補助に、例えばガス給湯器を使用する場合は「3」にも○をつけてください)。太陽光発電とは異なるものです。

給湯器・給湯システムの一例 ※下図は一例のため、異なる形状のものもあります。



裏面に続きます。



問 18 お宅の浴室の、今夏（8月頃）の1週間の平均的な使用状況をお答えください。

※合計で7日となるようにしてください。

【それぞれ数値を記入】

浴槽に湯をはる日数（追い焚きを含む）	1週間に	日
浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数	1週間に	日
浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数	1週間に	日
		合計7日

Ⅲ. お宅でのコンロの使用や調理の状況についてお伺いします。

問 19 お宅の台所で使用しているコンロの種類をお答えください。

※カセットコンロは除きます。

【あてはまるものすべてに○】

1	ガスコンロ（カセットコンロを除く）	
2	電気コンロ（IHクッキングヒーターなど）（注）	
3	その他（具体的に： _____）	
4	コンロはない	→ 問 22 へお進みください

（注）卓上タイプについては、ふだん台所での調理に使用するものは含めてください。食卓のみで使用するものは除きます。

問 20 お宅では、ふだんコンロを使って何人分の食事を用意していますか。

※朝食と一緒に弁当を作る場合は「朝」、夜に作り置きをする場合は「夜」、等、食事を作る時間に合わせてご回答ください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【それぞれ数値を記入】

		朝	昼	夜
平日	1日あたり (平均)	人分	人分	人分
休日	1日あたり (平均)	人分	人分	人分

作らない場合は0と記入

問 21 お宅での調理に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※当該製品を保有していない、使用していない場合は「該当しない」とお答えください。

【一つに〇】

	実施している	実施していない	該当しない
調理を行うときは、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている	1	2	3
ガスコンロを使うときは、炎が鍋底からはみ出さないように調節している	1	2	3

IV. お宅での車両の使用状況についてお伺いします。

問 22 お宅での自動車、オートバイ・スクーター（二輪車）の使用の有無をお答えください。使用している車両に関しては台数もお答えください。

※主に事業用に使用するものを除きます。ただし、通勤は含めてください。

※世帯全体についてお答えください。

種類	使用 【一つに〇】		有の場合	使用台数 【数値を記入】
	1 有	2 無		
自動車	1 有	2 無	→	台
ガソリンを使用するオートバイ・スクーター (原動機付自転車を含む)	1 有	2 無		→

自動車を使用していない場合は、問 25にお進みください。  
自動車を使用している場合は、次ページの問 23、問 24 もお答えください。

問 23 自動車の種類、排気量、実際の燃費、使用頻度、おおよその年間の走行距離をお答えください。

※排気量については車検証などをご確認ください。

※世帯全体で複数台ご使用の場合は、走行距離の多い順に1台目からご回答ください。

		1台目	2台目	3台目
		(注) 縦方向 ↓ にお答えください。		
種類 【一つに〇】	ガソリン車 (ハイブリッド含む)	1	1	1
	ディーゼル(軽油)車 (ハイブリッド含む)	2	2	2
	電気自動車	3	3	3
	プラグインハイブリッド車(注)	4	4	4
	その他 (LPG車、燃料電池車等)	5	5	5
排気量 【一つに〇】	660cc以下(軽自動車)	1	1	1
	661~1000cc	2	2	2
	1001~1500cc	3	3	3
	1501~2000cc	4	4	4
	2001~3000cc	5	5	5
	3001cc以上	6	6	6
実際の燃費 【一つに〇】	1Lあたり8km未満	1	1	1
	1Lあたり8~12km	2	2	2
	1Lあたり12~16km	3	3	3
	1Lあたり16~20km	4	4	4
	1Lあたり20km以上	5	5	5
	わからない	6	6	6
使用頻度 【一つに〇】	毎日	1	1	1
	週5~6日	2	2	2
	週3~4日	3	3	3
	週1~2日	4	4	4
	週1日未満	5	5	5
年間の走行距離 【数値を記入】	1年間に 万 千 百 □ □ □ 00 km	1年間に 万 千 百 □ □ □ 00 km	1年間に 万 千 百 □ □ □ 00 km	

(注) 家庭用電源等から充電できるハイブリッド車のことを言います。

問 24 お宅での自動車に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

【一つに〇】

	実施している	実施していない
自動車をゆっくり加速させるなど、燃費の良い運転を心がけている	1	2

V. お宅での交通手段の利用状況についてお伺いします。

問 25 お宅には、以下の交通手段を利用している方はいますか。いる場合は、交通手段ごとに、お宅で最も利用している方の利用頻度をお答えください。

※通勤・通学は含めてください。

※仕事や旅行・帰省での利用は含めないでください。

	利用している方 【一つに〇】		お宅で最も利用している方の利用頻度 【一つに〇】						
	いる	いない	週に 5日 以上	週に 3~4 日	週に 1~2 日	2週間 に1日 程度	月に 1日 程度	月に 1日 未満	
			1	2	3	4	5	6	
鉄道 (注 1)	1	2	→	1	2	3	4	5	6
バス	1	2	→	1	2	3	4	5	6
タクシー	1	2	→	1	2	3	4	5	6
カーシェアリング (注 2)	1	2	→	1	2	3	4	5	6

(注 1) 鉄道には、路面電車やモノレールも含まれます。

(注 2) カーシェアリングとは、1台の自動車を複数の会員が共同で利用するサービスです。レンタカーとは異なります。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。



(4) 冬季調査票 <2月末時点>



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



一般統計調査

環境省

家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査  
 冬季調査票  
 <令和 6 年 2 月末時点>

I. お宅での暖房の状況についてお伺いします。

問 1 お宅での今冬（1～2 月）の暖房の仕方について、最も近いものをお答えください。

【一つに〇】

1 24 時間暖房する	2 在室時は暖房する
3 寒いと感じた時のみ暖房する	4 ほとんど暖房しない・まったく暖房しない

問 2 お宅では、セントラル暖房システムを使用していますか。

※セントラル暖房システムは、集中熱源機（ボイラ等）から供給される熱で、複数の部屋を暖房するシステムを指します。

※マルチエアコンを除きます（マルチエアコンを使用している場合は、問 4 でエアコンとしてお答えください）。

【一つに〇】

1 使用している	2 使用していない	→ 問 3 へお進みください
----------	-----------	----------------

問 2-2 をお答えのうえ、問 3 へお進みください

問 2-2 セントラル暖房システムの種類をお答えください。

【一つに〇】

1 電気温水ボイラ	2 ガス温水ボイラ	3 灯油温水ボイラ
4 ダクト式セントラル空調		

問 3 お宅では、以下の床暖房を使用していますか。

【あてはまるものすべてに〇】

1 電気床暖房	2 ガス温水床暖房	3 灯油温水床暖房
4 床暖房を使用していない		

問4 以下の暖房機器について、お宅での使用の有無をお答えください。使用している機器に関しては使用台数もお答えください。

エネルギー源	機器分類	使用 【一つに〇】		有の場合	使用台数 【数値を記入】
		1 有	2 無		
電気	エアコン (暖房に使用するもの) (注1)	1 有	2 無	→	台
	電気ストーブ類 (ストーブ、パネルヒーター、オイルヒーターなど)	1 有	2 無	→	台
	電気カーペット・こたつ	1 有	2 無	→	台
	電気蓄熱暖房器(注2)	1 有	2 無	→	台
ガス	ガスストーブ類 (ファンヒーター、FF式ストーブなど)	1 有	2 無	→	台
灯油	灯油ストーブ類 (ファンヒーター、FF式ストーブなど)	1 有	2 無	→	台
木質系	木質系燃料を使用するストーブ類 (まきストーブ、ペレットストーブなど)	1 有	2 無	→	台

(注1) マルチエアコン(室外機1台に対して室内機が複数台あるエアコン)については室内機の使用台数をお答えください。

(注2) 電気蓄熱暖房器は、夜間時間帯に電力を通电して本体内部の蓄熱材(蓄熱レンガ)に熱エネルギーとして蓄え、暖房に利用する暖房機器を指します。

問5 お宅では、太陽熱利用暖房システムを使用していますか。

※太陽光発電とは異なるものです。

【一つに〇】

1 使用している      2 使用していない

問6 お宅での今冬(1~2月)に最もよく使う暖房機器をお答えください。

【一つに〇】

- 1 エアコン(電気)を最もよく使う
- 2 電気ストーブ類を最もよく使う(ストーブ、パネルヒーター、オイルヒーターなど)
- 3 電気カーペット・こたつを最もよく使う
- 4 電気蓄熱暖房器を最もよく使う
- 5 ガスストーブ類を最もよく使う(ファンヒーター、FF式ストーブなど)
- 6 灯油ストーブ類を最もよく使う(ファンヒーター、FF式ストーブなど)
- 7 木質系燃料を使用するストーブ類を最もよく使う(まきストーブ、ペレットストーブなど)
- 8 電気床暖房を最もよく使う
- 9 ガス温水床暖房を最もよく使う
- 10 灯油温水床暖房を最もよく使う
- 11 セントラル暖房システムを最もよく使う
- 12 太陽熱利用暖房システムを最もよく使う
- 13 その他(具体的に: )
- 14 暖房機器はない → 問9へお進みください

問 6-2 問 6 でお答えになった暖房機器の温度設定について、あてはまるものをお答えください。

※温度設定をよく変更する場合は、平均的な状況をお答えください。

【一つに〇】

1	温度を設定している	→温度	<input type="text"/> °C	
2	強弱を設定している	→5段階で近い設定をお答えください		強 ← 中 → 弱
3	設定できない			<input type="text"/> 1 <input type="text"/> 2 <input type="text"/> 3 <input type="text"/> 4 <input type="text"/> 5
4	わからない			

問 6-3 問 6 でお答えになった暖房機器について、寒い時期（1～2月）の、平日のおおよその使用時間をお答えください。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに〇】

1	2時間未満	2	2時間～4時間未満	3	4時間～8時間未満
4	8時間～12時間未満	5	12時間～16時間未満	6	16時間～24時間未満
7	24時間（一日中）				

問 7 お宅の、ふだん暖房する居室数をお答えください。

※食事室兼台所（ダイニング・キッチン）、居室兼食事室兼台所（リビング・ダイニング・キッチン）は居室に含めます。同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している室も含めます。（例：3LDK⇒居室数4室、2DK⇒居室数3室）

※食事室のない台所（キッチン）は居室に含めません。（例：1K⇒居室数1室）

【数値を記入】

ふだん暖房する居室数	<input type="text"/> 室	4月調査で回答頂いた お住まいの居室数は	<input type="text"/> 室でした。
------------	------------------------	-------------------------	----------------------------

問 8 お宅でのペットのための暖房の使用についてお答えください。

【一つに〇】

1	ペットのために暖房する	2	ペットのために暖房はしない	3	ペットはいない
---	-------------	---	---------------	---	---------

Ⅱ. お宅での冬季の給湯の状況についてお伺いします。

問 9 お宅の浴室の、今冬（1～2月）の 1週間の平均的な使用状況をお答えください。

※合計で7日となるようにしてください。

【それぞれ数値を記入】

浴槽に湯をはる日数（追い焚きを含む）	1週間に	<input type="text"/> 日
浴槽に湯をはらず、シャワーだけを使用する日数	1週間に	<input type="text"/> 日
浴槽に湯をはらず、シャワーも使用しない日数	1週間に	<input type="text"/> 日
		合計 7 日

問 10 お宅での入浴やお湯の使用に関わる省エネ行動の実施状況をお答えください。

※お住まいの方全員の平均的な実施状況をお答えください。

※シャワーがない、など該当する設備または機能がない場合は「該当しない」とお答えください。

【それぞれ一つに○】

	実施して いる	実施して いない	該当しな い
シャワーを使うときは、不必要に流したままにしない	1	2	3
家族が続けて入浴するようにしている (注)	1	2	3
食器を手洗いするときは、お湯を流したままにしない	1	2	3
給湯器を使用しないときは、コントローラー (リモコン) の電源を切るようにしている	1	2	3

(注) 単身世帯の方は「該当しない」とお答えください。

問 11 お宅での今冬 (1~2月) の洗面時のお湯の使い方をお答えください。

※洗面所で洗顔等にお湯を使う状況についてお答えください。

※単身世帯の方は「1 全員使う」または「3 使わない」のいずれかでお答えください。

【一つに○】

1 全員使う	2 使う人がいる	3 使わない
--------	----------	--------

問 12 お宅での今冬 (1~2月) の台所のお湯の使い方をお答えください。

※コンロでお湯を沸して利用する場合を除きます。

※食器洗い機で使用するお湯が給湯器から供給される場合を含みます。

【一つに○】

1 毎日使う	2 週 5~6 日使う	3 週 3~4 日使う
4 週 1~2 日使う	5 ほとんど使わない・まったく使わない	

### Ⅲ. その他

問 13 お宅で使用している融雪機器の種類をお答えください。

※お宅だけで光熱費を支払っているものについてお答えください。集合住宅等で共用されるものを除きます。

※融雪機器とは、エネルギーを用いて雪を溶かし機械的に除雪を行う装置のことを言います。

【あてはまるものすべてに○】

1 電気式の融雪機器 (ロードヒーティングなど)	2 ガスを使用する融雪機器
3 灯油を使用する融雪機器	4 いずれも使用していない

問 14 世帯年収をお答えください。

※収入がある方全員の年収 (税込) の合計をお答えください。

【一つに○】

1 250 万円未満	2 250~500 万円未満	3 500~750 万円未満
4 750~1000 万円未満	5 1000~1500 万円未満	6 1500~2000 万円未満
7 2000 万円以上		

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

## 回答の手引き



～調査にご協力いただきみなさまへ～

## 令和 5 年度「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」

# 回答の手引き

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月（毎月のご回答編）

令和 6 年 3 月分のご回答が済むまでお手元で保管ください。

### 目次

1. 「家庭部門の CO <sub>2</sub> 排出実態統計調査」について	1
2. 調査へのご回答方法について	2
3. 回答に際しご用意いただくもの	4
4. 調査ご協力スケジュール	6
5. 調査内容の手引き	9
※電気とガスを同一の会社で契約しているご世帯様は 18 頁をご参照ください。	
6. 5 月度分以降「問 1」ご回答についての注意点	21
★調査に関するお問合せメールのご利用方法	22

インターネットからでもご回答できます

<スマートフォンやタブレットも使用可>

回答画面へのログインはこちらから

<https://hst.netr.jp/toukei2023/>

● 本書 2 頁以降も併せてごらんください。



## 1. 「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」について

### ● 調査目的

「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」は、環境省 地球環境局 総務課 脱炭素社会移行推進室が実施している一般統計調査です。調査の結果は、地球温暖化対策のための効果的な温室効果ガス削減対策の推進や施策の立案、削減計画の策定などのための基礎資料として利用されます。

### ● 調査の対象と選定方法

統計上の抽出方法に基づき、住民基本台帳から無作為に選定された、全国 6,500 世帯（店舗併用住宅を除く世帯）を対象としています。

（その他、インターネットモニター6,500 世帯を含め、全国 13,000 世帯を対象に実施する統計調査です。）

### ● 調査の方法と内容

「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」は、民間調査機関（株式会社インテージリサーチ）に委任して実施しています。調査票は、毎月のエネルギー使用量を主としてご記入いただくものが 12 か月分と、夏季調査票（令和 5 年 8 月末ご記入）、冬季調査票（令和 6 年 2 月末ご記入）とに分かれています。また、ご協力開始後の令和 5 年 5 月、9 月、令和 6 年 3 月には調査員が訪問いたします。お伺いした際には些細ではございますが、ご協力の謝礼をお渡しいたします。

### ● 調査の法的根拠

「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」は、統計法第 19 条に基づき総務大臣の承認を得た一般統計調査として実施します。

### ● 秘密の保護

調査員を始めとする本調査に携わる者が、調査票の記入内容を他に漏らすことは、統計法で禁じられています。また、提出された調査票は、厳重に保管され、統計を作成した後、溶解処分されます。

### ● 結果の公表

「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」の結果は、環境省ホームページに掲載されます。

（関連調査 URL）<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html>

#### 調査に関するお問い合わせ先

(株)インテージリサーチ「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」事務局

☎ 0120-305-105（平日 9:30～17:30）

メールでのお問合せはこちらから

<https://survey.intage-research.co.jp/m/co2m-entry>

● 本書最終頁の操作手順を参照ください。



## 2. 調査へのご回答方法について

本調査にご協力いただく皆様には、調査員よりお渡りする調査票にご記入いただく方法と、各世帯様専用の ID・パスワードを用いたインターネットによりご回答いただく方法がありますので、どちらでもご回答しやすい方をご選択ください。

### ★インターネットを利用されご回答いただく際のアクセス手順★

**ログイン画面の入力** <ログイン画面は令和5年3月31日0:00からご利用が可能となります>

#### 回答画面へのログインはこちらから



- ※ スマートフォンやタブレットも使用可能です。
- ※ QRコードをご使用いただくと、本頁下段の画面に移行します。

#### 【インターネットでご回答いただく際のアクセス手順】



「Google」や「Yahoo!」等のトップ画面

<https://hst.netr.jp/toukei2023/>

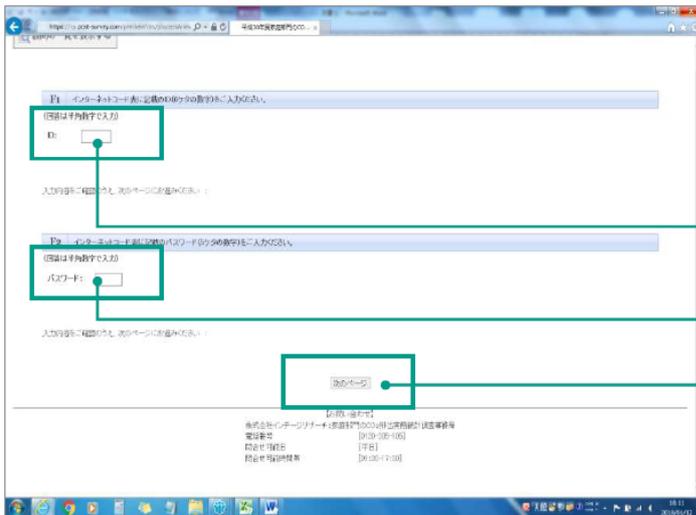
検索画面に直接 URL を入力される場合は↓こちらです。  
<https://hst.netr.jp/toukei2023/>  
Enter ボタンをクリック

「家庭部門の CO<sub>2</sub> 排出実態統計調査」トップ画面が開きます  
<下段の画面です> ※QRコードからのログイン時も以下画面が表示されます。



「はじめにお読みください」を確認された後に、次のページボタンをクリックしてください。

- ① 「はじめにお読みください」をクリック
- ② 「次のページ」をクリック



調査員がお渡ししている「インターネットコード表」をご準備の上、ログイン画面へお進みください。

ID (6ケタ) とパスワード (5ケタ) を入力し終えたら、次のページボタンをクリック

③ 「ID」: 6ケタの数字を半角数字で入力してください

④ 「パスワード」: 5ケタの数字を半角数字で入力してください

⑤ 「次のページ」をクリックしてください

※ 「次のページ」をクリックしても進めなかった場合は、再度以下をご確認ください。

- ・ インターネットコード表の「ID」、「パスワード」の数字を見間違えて入力されていませんか？
- ・ 「ID」、「パスワード」ともに半角数字で入力されていますか？



⑥ 「回答手順」をクリックして内容をお読みください

⑦ 「よくある質問」をクリックしてご確認ください

画面をスクロールすると月別・エネルギー別の回答画面入口となります。

## 推奨環境

### パソコン

#### Windows

- ・ Microsoft Edge
- ・ Firefox 最新バージョン
- ・ Google Chrome 最新バージョン

#### Macintosh

- ・ Safari 最新バージョン

### スマートフォン

#### iPhone・iPod touch

- ・ iOS 10以上
- Safari

#### Android

- ・ Android 5.0以上
- 標準ブラウザ

### 3. 回答に際しご用意いただくもの

本調査は、ご家庭内での毎月のエネルギー使用量や使用料金についてご回答いただく調査です。また、その他のエネルギー消費に係る機器や設備の使用状況、世帯構成や住宅の構造などについてお伺いします。

毎月の調査票で回答をお願いする内容	ご用意いただくもの
電気の使用状況	電気の検針票（使用量・使用料金がわかるもの）
ガスの契約有無と使用状況	ガスの検針票（使用量・使用料金がわかるもの）
太陽光発電の使用有無と使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検針票（購入電力量のお知らせ通知など）</li> <li>・ 表示モニター</li> </ul>
灯油／ガソリン／軽油の使用有無と使用状況	世帯全体分の購入レシート

※ 一部の事業社では「使用量のお知らせ（検針票）」を紙のお届けから Web 上でのご確認に変更されている場合がございます。ただし申し込みをおこなえば、無料で明細を契約者のお手元に郵送するサービスを実施している事業者もございますので、詳細につきましては各契約事業社へお尋ねしてみてください。

#### 電気・ガスの使用量や料金をインターネット上で閲覧できるサービスをご紹介します

過去に遡り、電気や都市ガスの使用量・使用料金をご契約されている企業のホームページにて閲覧できるサービスを実施している場合があります。企業・サービスの一例をご紹介しますので、調査ご回答時にはぜひご活用ください。

##### 電力取扱い企業の Web 閲覧サービスの一例

※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可



（令和 4 年 12 月現在の情報）

企業名	サービス名	サービス URL
北海道電力	Web 料金 お知らせサービス	<a href="http://www.hepco.co.jp/home/price/price_info/index.html">http://www.hepco.co.jp/home/price/price_info/index.html</a>
東北電力	よりそう e ネット	<a href="https://www3.zf1.tohoku-epco.co.jp">https://www3.zf1.tohoku-epco.co.jp</a>
北陸電力	ほくリンク	<a href="https://www.rikuden.co.jp/hokulink/">https://www.rikuden.co.jp/hokulink/</a>
東京電力 エナジーパートナー	くらし TEPCOweb	<a href="https://www.tepco.co.jp/ep/kurashi/feature.html">https://www.tepco.co.jp/ep/kurashi/feature.html</a>
中部電力ミライズ	カテエネ	<a href="https://katene.chuden.jp">https://katene.chuden.jp</a>
関西電力	はぴ e みる電	<a href="https://kepco.jp/miruden/">https://kepco.jp/miruden/</a>
四国電力	よんでんコンシェルジュ	<a href="http://www.yonden.co.jp/y-con/">http://www.yonden.co.jp/y-con/</a>
中国電力	ぐっとずっと。WEB	<a href="http://www.energia-support.com">http://www.energia-support.com</a>
九州電力	キレイライフプラス	<a href="https://www.kireilife.net">https://www.kireilife.net</a>
沖縄電力	電気ご使用 実績照会サービス	<a href="https://www.okiden.co.jp/service/result/">https://www.okiden.co.jp/service/result/</a>

企業名	サービス名	サービス URL
東京ガス	my TOKYO GAS	<a href="https://members.tokyo-gas.co.jp">https://members.tokyo-gas.co.jp</a>
大阪ガス	マイ大阪ガス	<a href="https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html">https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html</a>
KDDI	au でんき	<a href="https://www.au.com/energy/">https://www.au.com/energy/</a>
ソフトバンクでんき	おうちでんき	<a href="https://www.softbank.jp/energy/">https://www.softbank.jp/energy/</a>
ENEOS	ENEOS でんき	<a href="http://www.eneos.co.jp/denki-kyotsu/">http://www.eneos.co.jp/denki-kyotsu/</a>
	でんきサービス	<a href="https://mydenki.jp/private">https://mydenki.jp/private</a>
J:COM 電力	エコレポホーム	<a href="https://www.jcom.co.jp/service/electricity/ecorepo_home/">https://www.jcom.co.jp/service/electricity/ecorepo_home/</a>
楽天エナジー	楽天でんき	<a href="https://energy.rakuten.co.jp/electricity/">https://energy.rakuten.co.jp/electricity/</a>
ミツウロコヴェッセル	ミツウロコでんき	<a href="https://mitsuurokodenki.jp">https://mitsuurokodenki.jp</a>
MC リテールエナジー	まちエネ	<a href="https://www.machi-ene.jp">https://www.machi-ene.jp</a>
HTB エナジー	HTB エナジー	<a href="https://htb-energy.com">https://htb-energy.com</a>
出光興産	idemitsu でんき	<a href="https://denki.idemitsu.com">https://denki.idemitsu.com</a>

#### 都市ガス会社の Web 閲覧サービスの一例

※パソコン・スマートフォンのいずれでも閲覧可



(令和4年12月現在の情報)

企業名	サービス名	サービス URL
北海道ガス	Tag Tag	<a href="https://tagtag.hokkaido-gas.co.jp/portal/MyPage/top">https://tagtag.hokkaido-gas.co.jp/portal/MyPage/top</a>
東京ガス	my TOKYO GAS	<a href="https://members.tokyo-gas.co.jp">https://members.tokyo-gas.co.jp</a>
京葉ガス	ウイズ京葉ガス	<a href="https://with.keiyogas.co.jp/login">https://with.keiyogas.co.jp/login</a>
サーラエナジー (旧中部ガス)	マイサーラ	<a href="https://www.mysala.jp/towngas">https://www.mysala.jp/towngas</a>
東邦ガス	Club TOHO GAS	<a href="https://members.tohogas.co.jp">https://members.tohogas.co.jp</a>
大阪ガス	マイ大阪ガス	<a href="https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html">https://www.osakagas.co.jp/ssl/my-page/index.html</a>
西部ガス	西部ガスマイページ	<a href="https://mypage.saibugas.co.jp/login">https://mypage.saibugas.co.jp/login</a>
日本瓦斯 (ニチガス)	My NICIGAS	<a href="https://www.nichigas.co.jp/mynicigas">https://www.nichigas.co.jp/mynicigas</a>

## 4. 調査ご協力スケジュール

毎月の調査につきましては、以下のスケジュールで運用いたします。また、担当いたします調査員の訪問月を記載していますので、ご確認ください。（インターネットでご回答される世帯様へも、調査員が定期的に訪問いたします。）

※ 非常災害など緊急事態の発生時は、止むを得ず調査員の訪問スケジュールを変更させていただく場合がございます。その際は、該当する地域でご協力いただいております世帯様へ個別にご対応させていただきます。

（令和 5 年 4 月調査～令和 6 年 3 月調査までの 12 か月間となります）

	ご回答いただく 調査票	ご協力いただく内容
<p>令和 5 年 4 月</p> <p>ご回答の 開始月です</p>	<p>令和 5 年 4 月分</p>	<p>【調査票へご記入の方】 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月票のご記入が済みでしたら 5 月に調査員が回収に伺うまでお手元で保管ください。</li> </ul> <p>【インターネットでご回答される方】  </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月 1 日よりご回答可能です。</li> </ul>
<p>令和 5 年 5 月</p> <p>調査員 訪問月</p> <p></p> <p>引き続き調査継続協力のお礼として謝礼をご持参いたします。</p>	<p>令和 5 年 5 月分</p>	<p>【令和 5 年 5 月 1 日～15 日までの期間に調査員が訪問いたします。】</p> <p>【調査票へご記入の方】 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご記入済みの 4 月票 は調査員にお渡しください。</li> </ul> <p>【インターネットでご回答される方】  </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月分のご回答を済ませましたら 5 月 15 日までにご送信ください。</li> </ul> <p>【全員の方へ】 調査員よりお受け取りください。 </p> <p>令和 5 年 6 月～9 月ご記入分までの毎月の調査票と夏季調査票および令和 5 年 5 月票～7 月票の返送用封筒（3 枚）をお受け取りください。</p>
<p>令和 5 年 6 月 7 月</p>	<p>令和 5 年 6 月分 ・ 令和 5 年 7 月分</p>	<p>【調査票へご記入の方】  </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5 月票のご記入を済ませましたら 6 月 15 日までにご投函ください。</li> <li>6 月票のご記入を済ませましたら 7 月 15 日までにご投函ください。</li> </ul> <p>【インターネットでご回答される方】  </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5 月分のご回答を済ませましたら 6 月 15 日までにご送信ください。</li> <li>6 月分のご回答を済ませましたら 7 月 15 日までにご送信ください。</li> </ul>

	ご回答いただく 調査票	ご協力いただく内容
<p>令和 5 年 <b>8 月</b></p>	<p>令和 5 年 8 月分</p> <p>夏季調査票</p>	<p><b>【調査票へご記入の方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 月票のご記入を済ませましたら <b>8 月 15 日</b>までにご投函ください。</li> <li>・ 8 月票および夏季調査票のご記入が済みでしたら <b>9 月</b>に調査員が回収に伺うまでお手元で保管ください。</li> </ul> <p><b>【インターネットでご回答される方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 月分のご回答を済ませましたら <b>8 月 15 日</b>までにご送信ください。</li> </ul>
<p>令和 5 年 <b>9 月</b></p> <div style="border: 1px solid #00a08a; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>調査員 訪問月</p> </div>  <p>引き続き調査継続協力のお礼として謝礼をご持参いたします。</p>	<p>令和 5 年 9 月分</p>	<p><b>【令和 5 年 9 月 1 日～15 日までの期間に調査員が訪問いたします。】</b></p> <p><b>【調査票へご記入の方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご記入済みの <b>8 月票と夏季調査票</b> は調査員にお渡しください。</li> </ul> <p><b>【インターネットでご回答される方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月分のご回答を済ませましたら <b>9 月 15 日</b>までにご送信ください。</li> <li>・ 夏季調査票のご回答を済ませましたら <b>9 月 15 日</b>までにご送信ください。</li> </ul> <p><b>【全員の方へ】</b>  調査員よりお受け取りください。 令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月ご記入分までの毎月の調査票と冬季調査票および令和 5 年 9 月票～令和 6 年 1 月票の返送用封筒 (5 枚) をお受け取りください。</p>
<p>令和 5 年 <b>10 月</b> <b>11 月</b> <b>12 月</b></p> <p>令和 6 年 <b>1 月</b></p>	<p>令和 5 年 10 月分 ・ 令和 5 年 11 月分 ・ 令和 5 年 12 月分 ・ 令和 6 年 1 月分</p>	<p><b>【調査票へご記入の方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 月票のご記入を済ませましたら <b>10 月 15 日</b>までにご投函ください。</li> <li>・ 10 月票のご記入を済ませましたら <b>11 月 15 日</b>までにご投函ください。</li> <li>・ 11 月票のご記入を済ませましたら <b>12 月 15 日</b>までにご投函ください。</li> <li>・ 12 月票のご記入を済ませましたら <b>令和 6 年 1 月 15 日</b>までにご投函ください。</li> </ul> <p><b>【インターネットでご回答される方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 月分のご回答を済ませましたら <b>10 月 15 日</b>までにご送信ください。</li> <li>・ 10 月分のご回答を済ませましたら <b>11 月 15 日</b>までにご送信ください。</li> <li>・ 11 月分のご回答を済ませましたら <b>12 月 15 日</b>までにご送信ください。</li> <li>・ 12 月分のご回答を済ませましたら <b>令和 6 年 1 月 15 日</b>までにご送信ください。</li> </ul>

	ご回答いただく 調査票	ご協力いただく内容
<p>令和6年 2月</p>	<p>令和6年 2月分 冬季調査票</p>	<p><b>【調査票へご記入の方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年1月票のご記入を済ませましたら <b>2月15日</b>までにご投函ください。</li> <li>2月票および冬季調査票のご記入が済みでしたら <b>3月に調査員が回収に伺うまでお手元で保管</b>ください。</li> </ul> <p><b>【インターネットでご回答される方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年1月分のご回答を済ませましたら <b>2月15日</b>までにご送信ください。</li> </ul>
<p>令和6年 3月</p> <p>調査員 訪問月</p>  <p>長期に渡り調査にご協力いただいたお礼として謝礼をご持参いたします。</p>	<p>令和6年 3月分</p>	<p><b>【令和6年3月1日～15日までの期間に調査員が訪問いたします。】</b></p> <p><b>【調査票へご記入の方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご記入済みの <b>2月票と冬季調査票</b> は調査員にお渡しください。</li> <li>令和6年3月票の返送用封筒をお受け取りください。</li> </ul> <p><b>【インターネットでご回答される方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2月分のご回答を済ませましたら <b>3月15日</b>までにご送信ください。</li> <li>冬季調査票のご回答を済ませましたら <b>3月15日</b>までにご送信ください。</li> </ul> <p><b>【全員の方へ】</b> 調査員へお渡しください。 </p> <p>不要になった「回答の手引き」や、インターネットでご回答いただいて、不要となった調査票は、調査員が訪問した際に回収いたしますので、ご準備ください。</p>
<p>令和6年 4月</p>		<p><b>【調査票へご記入の方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3月票のご記入を済ませましたら <b>4月15日</b>までにご投函ください。</li> <li><b>ご投函漏れの調査票が残っていないかご確認をお願いします。</b></li> </ul> <p><b>【インターネットでご回答される方】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3月分のご回答を済ませましたら <b>4月15日</b>までにご送信ください。</li> <li><b>ご回答漏れの月や夏季調査票、冬季調査票のご送信がすべて完了しているか、トップ画面にて今一度ご確認をお願いします。</b></li> </ul>
<p>15日を過ぎてしまった場合でも、ご投函漏れの調査票やインターネットの入力は受け付けておりますので、最終月分までのご協力を、何卒よろしくお願いいたします。</p>		

## 5.調査内容の手引き

1	2	3	4	—	5	6
---	---	---	---	---	---	---



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



一般統計調査

環境省

ご回答時にお手持ちの調査票と併せてご参照ください

# 4月

家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査

電気ご使用量やガスご使用量の検針月日欄に「4月〇日」と印字のある検針票や、「4月分ご請求額」と記載のある請求書が4月分調査票のご回答対象となります。(以降の月も同様です)

※ 検針票や請求書に上記記載がない場合は、「使用期間」の最終日にあたる月をご回答の対象月としてください。

I. 4月末時点の世帯の状況

問 1 4月末時点で、あなた

※ 単身赴任や下宿等で、ふだんお宅に同居していない方は除きます。

【数値を記入】

3 人

4月末の記入時点で、ふだん一緒に住まわれている方の合計人数を教えてください。(あなたも含めてください)

- 週に1,2回程度の外泊をされている方がいらっしゃる場合は、**合計人数に含めてください。**
- ご回答時点では同居しているが、**今後転居や赴任が決まっている方がいらっしゃる場合でも、合計人数に含めてください。**

× 長期入院や長期留学など、ご回答時点ですでに3か月以上留守されている方の人数は含めなくてください。(4月末時点で3か月未満の留守については合計人数に含めます)

問 2 問1でお答え

※ 1人目は世帯主についてお答えください。(世帯主が同居していない場合は除く)

※ 続柄については世帯主からみでの続柄をお答えください。

問1で回答された人数全員について、問2へご回答ください。(例・問1=3名、問2=3人目まで回答)

※ 二世帯住宅の場合は、電気の契約者を世帯主としてお答えください。

※ 横1列内に、続柄→年齢→就業状態の順でひとりずつお答えください。

	世帯主からみた続柄 【一つに〇】							年齢 【一つに〇】											就業状態 【一つに〇】		
	世帯主	世帯主の子	子・子の親	親	祖父母	孫	その他	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~74	75歳以上	就業あり (在宅勤務あり)	就業あり (在宅勤務なし)	就業でない		
1人目	①	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9					
2人目		②	続柄					年代													
1人目	①	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	①	2	3		
2人目		②	3	4	5	6	7	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	1	2	③		

横1列におひとりずつご回答ください。

就業状況の確認と在宅勤務の有無

問1でご記入いただいた人数分のご回答をお願いします。

※ 1人目は世帯主についてご回答ください。

(ただし問1の人数に世帯主を含めていない場合は、家計を担っている方から順番にご回答ください。)

<続柄について>

※ 2人目以降は、「世帯主からみた続柄」で当てはまる番号に〇をつけてください。(世帯主が単身赴任中などで、問1の合計人数に含んでいない場合にも、**実際の世帯主からみた続柄をご回答ください。**)

※ 「親」「祖父母」「他の親族」は血縁関係にかかわらず、「義父母、義祖父母、義親族」までを含みます。

<就業について>

※ 就業されている世帯員様は、「在宅勤務の有無」について、**あてはまる方に〇をお答えください。**

・ 在宅勤務とは、自宅を就業場所として働く勤務形態のことをいいます。自宅以外での場所での就業は除いてください。

※ 学生のアルバイトは「3 就業者でない」に〇をつけてください。(学生以外の方で就業されている場合は、働き方に関係なく「就業者1 もしくは 2」のあてはまる方に〇をつけてください。)

問3 問2でお  
ださい。  
※在宅勤務と

1週間の平均的な在宅勤務日数が整数とならない場合は切り上げていただき、整数の日にてご回答ください。例) 1週間のうちの在宅勤務日平均が3.5日の場合 → 4日

平均的な在宅勤務日数 【数値を記入】	1週間のうち <b>3</b> 日						
1日の平均的な在宅勤務時間 【一つに○】	<table border="0"> <tr> <td>1 4時間未満</td> <td>2 4時間～6時間未満</td> </tr> <tr> <td>3 6時間～8時間未満</td> <td><b>4</b> 8時間～10時間未満</td> </tr> <tr> <td>5 10時間以上</td> <td></td> </tr> </table>	1 4時間未満	2 4時間～6時間未満	3 6時間～8時間未満	<b>4</b> 8時間～10時間未満	5 10時間以上	
1 4時間未満	2 4時間～6時間未満						
3 6時間～8時間未満	<b>4</b> 8時間～10時間未満						
5 10時間以上							

「問2」の回答で、「1人目」(世帯主または家計を担っている方)にお答えいただいた内容で、就業状態の回答が、「就業者(在宅勤務あり)1」に○がついた場合は、4月末時点での平均的な在宅勤務内容についても併せてご回答ください。

問4 お宅では、ふだん平日の昼間に在宅者がいますか。

※就業者がいる世帯の場合、世帯で主に家計を支える方の就労日を「平日」とお考えください。就業者がいない世帯の場合、土・日・祝祭日等を除く日を「平日」とお考えください。

【一つに○】

<b>1</b> ほぼ毎日いる	2 週3～4日いる
3 週1～2日いる	

世帯で家計を支える方の就労日を平日とお考えください。また、就業者がいらっしゃらない世帯では暦通りにお考えください。

II. 4月末時点のお住まいの状況についてお伺いします。

問5 お住まいの建て方をお答えください  
※隣世帯と壁を共有して建てられた長屋類

外見が戸建でも、各部屋が壁で仕切られ、複数世帯が住まわれている建物は、「2集合住宅」とご回答ください。

【一つに○】

1 戸建住宅	<b>2</b> 集合住宅(マンション、アパート、長屋、テラスハウス)
--------	-------------------------------------

問6 お住まいの構造をお答えください  
※木造と木造以外を組み合わせた構造は、

木造と鉄筋コンクリートや鉄骨などを組み合わせた構造の場合は、「2木造以外」とご回答ください。

【一つに○】

1 木造	<b>2</b> 木造以外(鉄筋コンクリート造、鉄骨造など)
------	--------------------------------

問7 お住まいの建築時期をお答えください。

【一つに○】

1 1970(昭和45)年以前	2 1971～1980(昭和46～55)年
<b>3</b> 1981～1990(昭和56～平成2)年	4 1991～2000(平成3～12)年
5 2001～2005(平成13～17)年	6 2006～2010(平成18～22)年
7 2011～2015(平成23～27)年	8 2016～2020(平成28～令和2)年
9 2021(令和3)年以降	10 わからない

賃貸の場合は、「契約書」に建築年が記載されています。ご参考にしてください。

問8 お住まいの所有関係をお答えください。

【一つに〇】

①	持ち家・分譲（住宅、マンション）
2	民営の賃貸住宅
3	公営（都道府県・市区町村営）、公社または都市再生機構（UR）の賃貸住宅
4	給与住宅（社宅、公務員住宅など）

問9へお進みください

問8で1とお答えの持ち家・分譲（住宅、マンション）について、2010（平成22）年1月以降に行った窓、壁、床、天井・屋根の改修工事について、それぞれ一つ〇をつけてください。

※マンション等集合住宅の場合は、共有部分も含めてご回答ください。

【それぞれ一つに〇】

	断熱性・省エネ性の向上を目的とした改修工事を行ったことがある	その他の目的（補修、更新、耐震補強等）で改修工事を行ったことがある	改修工事を行ったことはない
窓	①	2	3
壁	1	②	3
床	1	2	③
天井・屋根	1	②	3

問9 お住まいの延床面積をお答えください。

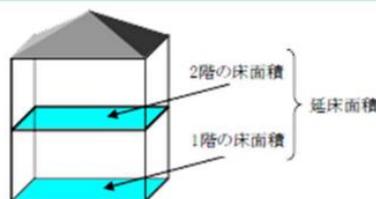
※延床面積とは、建物の各階の床面積の合計です。敷  
※アパート・マンションなどの集合住宅の場合は、専  
※延床面積の単位は㎡（平方メートル）、あるいは坪数

・賃貸の場合は、「契約書」に床面積が記載されていることが多いです。ご参考にしてください。  
・延床面積または坪数のどちらかをご回答ください。

【数値を記入】

**52.8** ㎡ あるいは **16** 坪

※1坪は約3.3㎡です。



問10 お住まいの居室数をお答えください。

※食事室兼台所（ダイニング・キッチン）、居室兼食事室兼台所（リビング・ダイニング・キッチン）は居室に含めます。同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している室も含めます。（例：3LDK⇒居室数4室、2DK⇒居室数3室）

※食事室のない台所（キッチン）は居室に含めません。（例：1K⇒居室数1室）

【数値を記入】

**3** 室

ダイニングキッチンやリビング・ダイニング・キッチンが1居室として数えてください。

例：3LDK⇒居室数4室、2DK⇒居室数3室



※色のついた部屋が居室となります。  
※上図の場合、居室数は「3室」になります。

問 11 お住まいには、二重サッシまたは複層ガラスの窓はありますか。

【一つに〇】

1 すべての窓にある	<input checked="" type="radio"/> 2 一部の窓にある
3 ない	4 わからない

複層ガラスとは・・・複数の板ガラスの間を密封した、断熱・遮音に効果的な窓ガラス。ペア-ガラスとも言われています。

### Ⅲ. 機器・設備についてお伺いします。

問 12 お宅での家庭用エネルギー管理システム（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）の導入状況についてお答えください。

HEMSとは・・・エネルギー使用状況を専用の画面やパソコン、スマートフォンなどに表示することなどにより、家庭における省エネルギーを支援するシステムのことを言います。家電機器などの最適運転を行う機能をもつものもあります。

【一つに〇】

1 導入している	<input checked="" type="radio"/> 2 導入していない	3 わからない
----------	--	---------

問 13 お宅での家庭用蓄電システムの使用状況についてお答えください。

家庭用蓄電システムとは・・・電力会社から購入する電気や太陽電池等で発電された電気を充電して、必要な時に家庭内の電気機器に電気を供給するシステムです。V2H（自動車に蓄えた電気を家庭内に供給して使うシステム）を含みます。

※アパート・マンションなどの集合住宅の場合、共用部などに設置されているものは含みません。

【一つに〇】

1 使用している	<input checked="" type="radio"/> 2 使用していない	3 わからない
----------	--	---------

問 14 お宅では、家庭用燃料電池（エネファーム）、ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）、ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）を使用していますか。

【一つに〇】

<input checked="" type="radio"/> 1 家庭用燃料電池（エネファーム）	2 ガスエンジン発電・給湯器（エコウィル）
3 ガスエンジン発電・暖房器（コレモ）	<input type="radio"/> 4 いずれも使用していない

↓  
問 15 へお進みください

問 14-2 問 14 でお答えの設備について、余った電気を売却（売電）する契約をしていますか。

※太陽光発電による売電とは異なります。

【一つに〇】

<input checked="" type="radio"/> 1 している	2 していない
---	---------

1.エネファーム、2.エコウィル、3.コレモ、のいずれかに〇がついた方は、売却（売電）の契約についてもお答えください。

IV. エネルギーの使用状況についてお伺いします。

電気ご使用量の検針月日欄に「4月〇日」と印字のある検針票や、「電力振込用紙」または「電気ご使用量のお知らせ」、「4月分ご請求額」と記載のある請求書が4月分となります。(以降の月も同様です)

※検針票や請求書に上記のような記載がない場合は、「使用期限」の最終日にあたる月をご回答の対象月としてください。

※同一の会社で電気とガスをまとめて契約されている場合はP19「ご回答月注意点」も併せて参照ください。

問 15 お宅での4月分の電気の使用状況をお答えください。

※実際の使用期間に関わらず、「4月分」と記載されている検針票を

住居とは別棟で契約されている「農事用電力」や「店舗用」などは含みません。

(住居部分のみについてご回答ください)

	電気使用量 【数値を記入】	電気料金(注1) 【数値を記入】		
※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。				
電気	千 百 十 一 □ □ □ □ kWh	万 千 百 十 一 □ □ □ □ □ 円	月 日 から	月 日 まで

(注1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

電気：例1（従来の電力会社（検針）払込票）

(B) 電気料金等払込金受入票 (振込依頼書)

口座番号 00150 9 167 加入者名 東京電力エナジーパートナー 607

地区番号 年月分 金 額

4-9 ¥8216

調査票記入月 (令和4年9月分)

お問い合わせ先 カスタマーセンター 0120-995-662(代)

(A) 電気料金等郵便振替払込金受領証 (領収証)

口座番号 00150 9 167 加入者名 東京電力エナジーパートナー

年月分 払込金額

4-9 ¥8216

ご契約戸数 30 A 電灯種別 従量電灯B

ご使用量kWh 299

ご使用期間 8月19日～9月16日

お支払期限日 10月18日

東京電力エナジーパートナー株式会社 (お客様控え)

● 調査票への回答内容 (例1の場合、ご回答いただく調査票は「9月分」です)

	電気使用量【数値を記入】	電気料金(注1)【数値を記入】	使用期間【数値を記入】
※電気の検針票が複数ある場合は、太陽光発電の売電契約の検針票を除き、合計値を記入して下さい。			
電気	千 百 十 一 □ □ 2 9 9 kWh	万 千 百 十 一 □ □ 8 2 1 6 円	8 月 19 日 から 9 月 16 日 まで

(注1) 電気料金と一緒にガス料金や太陽光発電設備のリース料金等が請求されている場合は、それらを電気料金に含めないでください。

請求額は税込のままご回答ください。





太陽光：例1（従来の電力会社払込票）

● 調査票への回答内容（例1の場合、ご回答いただく調査票は「11月分」です）

使用【一つに○】	電力量【数値を記入】	受領金額【数値を記入】
太陽光発電 ① 有	発電 (注1) 千 百 十 一 9 8 0 kWh	発電量はモニターで確認
② 無	売却 (売電) (注2) 千 百 十 一 3 1 1 kWh	請求額は税込のままご回答ください。
問 17 へお進みください	太陽電池の総容量 (注) 【数値を記入】 + - . 5 5 kW	太陽電池の総容量は、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までご回答ください。

太陽光：例2（契約事業者のインターネット画面から確認できる月別太陽光使用量と購入（売却）明細）

● 調査票への回答内容（例2の場合、ご回答いただく調査票は「10月分」です）

使用【一つに○】	電力量【数値を記入】	受領金額【数値を記入】
太陽光発電 ① 有	発電 (注1) 千 百 十 一 3 2 6 kWh	発電はモニターで確認
② 無	売却 (売電) (注2) 千 百 十 一 1 5 5 kWh	請求額は税込のままご回答ください。
問 17 へお進みください	太陽電池の総容量 (注) 【数値を記入】 + - . 5 5 kW	太陽電池の総容量は購入時のカタログで確認



ガス：例2（契約事業者のインターネット画面から確認できる月別ガス使用量と料金明細）

● 調査票への回答内容（例2の場合、ご回答いただく調査票は「6月分」です）

ガス	契約【一つに〇】	ガス使用量(注1) 【数値を記入】	ガス料金(注2) 【数値を記入】
	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	百 十 一 7 7 . 0 m <sup>3</sup>	万 千 百 十 一 7 4 0 4 円
問 18 へお進みください		使用期間【数値を記入】	
		5 月 7 日 ~ 6 月 3 日	

ガスの種類、ガス会社の名称

ガスの種類	1 都市ガス <input type="radio"/> 2 LP (プロパン) ガス <input checked="" type="radio"/>
ガス会社名(注)	JA上伊那中部LPガスセンター <input checked="" type="radio"/>

プロパンガスをご使用の場合で、購入先が「商店」や「燃料店」の場合でも、その店名をご回答ください。

(注) 例) ○○ガス、△△市ガス局

電気・ガスの契約を同一の事業者でまとめている場合のご回答月注意点

エネルギー種により使用月が異なる検針票や明細が多いため、ご記入いただく際は、回答月にご注意ください。

例：ガス会社から発行されたガスと電気の明細が併記されている検針票

上記の様な検針票の場合でも、使用期間に関わらずガス・電気いずれも7月分の調査票へご回答ください。

問 18 お宅での4月中の灯油の購入の有無をお答えください。

通年では購入されない場合でも、購入が発生した月は忘れずに回答をお願いします。

	購入【一つに○】	
	有	無
灯油	①	2

計値を記入してください。

有の場合

購入量【数値を記入】		支払金額【数値を記入】	
百	+	十	リットル
5	0	.	00
リットル		万	千
5	9	4	5
		百	十
			円

※ 調査月内（毎月1日～末日）に購入された「灯油」の、購入量と支払金額を合計の上、ご回答ください。

※ クレジットカード払いなどでご購入の際は、実際の支払月がずれますが、その場合でも、給油された月を購入月としてご回答ください。

※ 購入額は税込のままご回答ください。

額を

問 19 お宅での4月中のガソリンおよび軽油の購入の有無を、あなた以外の居住者の分も含めてお答えください。購入が有る場合は、それぞれ購入量と支払金額をお答えください。

	購入【一つに○】	
	有	無
ガソリン	①	2

有の場合

購入量【数値を記入】		支払金額【数値を記入】	
百	+	十	リットル
2	3	.	53
リットル		万	千
3	5	5	3
		百	十
			円

①

百	+	十	リットル
1	6	.	50
リットル		万	千
2	7	2	2
		百	十
			円

②

百	+	十	リットル
2	1	.	53
リットル		万	千
3	3	1	6
		百	十
			円

③

百	+	十	リットル
2	0	.	00
リットル		万	千
3	3	0	0
		百	十
			円

④

百	+	十	リットル
3	5	.	29
リットル		万	千
5	6	1	3
		百	十
			円

⑤ + ⑥

右ページ  
レシート番号

※ 調査月内（毎月1日～末日）に購入された「ガソリン」「軽油」の、購入量と支払金額を購入件数ごとにご回答ください。

※ 購入件数が5件以上ある場合は、5件目の回答欄に、5件目以降の合計の購入量・支払金額をご記入ください。

※ クレジットカード払いなどでご購入の際は、実際の支払月がずれますが、その場合でも、給油された月を購入月としてご回答ください。

※ 購入額は税込のままご回答ください。

	購入【一つに○】	
	有	無
軽油	1	②

有の場合

購入量【数値を記入】		支払金額【数値を記入】	
百	+	十	リットル
		.	
リットル		万	千
		百	十
			円

百	+	十	リットル
		.	
リットル		万	千
		百	十
			円

百	+	十	リットル
		.	
リットル		万	千
		百	十
			円

百	+	十	リットル
		.	
リットル		万	千
		百	十
			円

百	+	十	リットル
		.	
リットル		万	千
		百	十
			円

注) 軽自動車用の燃料はガソリンです。

「ガソリン・軽油」は、世帯内で保有するすべての車両の分が毎月のご回答の対象となります。

**ENEOS** お客様控え (クレジット領収書)

12号旭川南SS  
TEL 0166-62-2899  
東日本宇佐美  
本社 東京都文京区本郷2-22-2

売上 2022年10月1日 11:10

クレジット

レギュラーガソリン P-19(内)	23.53 L	¥151.0	3553円
(内、税抜)		¥137.3	
01200.00			
(内、QR油種値引)		-93.0	-71円
(内、会員値引)		-82.0	-47円

合計 3,553円  
(内、消費税等(10.00%) 323円)  
(内、P支払可能金額 3,553円)

**ENEOS** 納品書(領収書)

2022年10月09日 16:59

売上 ENEOS Iカード会員 様

ENEOS Iカード  
車両番号 実車番  
0110-00

レギュラー P-09	16.50L	*	165円	¥2,722
(内ガソリン税53.80円)				¥888

合計 ¥2,722  
(消費税10%対象 ¥2,722)  
内消費税等 ¥247

**ENEOS** お客様控え (クレジット領収書)

12号旭川南SS  
TEL 0166-62-2899  
東日本宇佐美  
本社 東京都文京区本郷2-22-2

売上 2022年10月16日 09:33

クレジット

レギュラーガソリン P-19(内)	21.53 L	¥154.0	3316円
(内、税抜)		¥140.0	
01200.00			
(内、会員値引)		-82.0	-43円

合計 3,316円  
(内、消費税等(10.00%) 301円)  
(内、P支払可能金額 3,316円)

**ENEOS** 納品書(領収書)

2022年10月19日 09:11

売上 ENEOS Iカード会員 様

ENEOS Iカード  
車両番号 実車番  
0110-00

レギュラー P-04	20.00L	*	165円	¥3,300
(内ガソリン税53.80円)				¥1,076
01200.00				
水抜き剤 1.00L(個)		*	660円	¥660

合計 ¥3,960  
(消費税10%対象 ¥3,960)  
内消費税等 ¥360

**ENEOS** 納品書(領収書)

2022年10月29日 08:41

売上 ENEOS Iカード会員 様

ENEOS Iカード  
車両番号 実車番  
0110-00

レギュラー P-04	16.30L	*	165円	¥2,689
(内ガソリン税53.80円)				¥877

合計 ¥2,689  
(消費税10%対象 ¥2,689)  
内消費税等 ¥244

**ENEOS** お客様控え (クレジット領収書)

12号旭川南SS  
TEL 0166-62-2899  
東日本宇佐美  
本社 東京都文京区本郷2-22-2

売上 2022年10月29日 11:23

クレジット

レギュラーガソリン P-19(内)	18.99 L	¥154.0	2924円
(内、税抜)		¥140.0	
01200.00			
(内、QR油種値引)		-85.0	-95円
(内、会員値引)		-82.0	-38円

合計 2,924円  
(内、消費税等(10.00%) 266円)  
(内、P支払可能金額 2,924円)

世帯全体分の1ヶ月分の購入量と支払金額(税込)を、購入件数ごとに回答欄にご記入ください。

**例：10月購入分 世帯全体で6回給油記入欄の上から記入します。**

① 23.53ℓ 3,553円  
② 16.50ℓ 2,722円  
③ 21.53ℓ 3,316円  
④ 20.00ℓ 3,300円  
(※水抜き剤の支払金額は含めません)

⑤+⑥ 35.29ℓ 5,613円  
(※購入件数が5件以上あるので、この場合5件目と6件目の合計の購入量と支払金額を記入します)

・購入量 16.30ℓ + 18.99ℓ = 35.29ℓ  
・支払金額 2,689円 + 2,924円 = 5,613円

V. その他

問20 お宅では4月中に、旅行等で5日間以上、居住者全員が不在になることがありましたか。

【一つに〇】

① あった                      2 なかった                     

I (1頁) 4月末時点で居住しているとご回答いただいた全員が5日間以上家を留守にされていた場合は、1に〇をつけてください。

問21 お宅では以下の状況に該当する方(あなた自身を含める)はいいますか。

※該当する方が一人でもいる場合「いる」と回答してください。

【それぞれ一つに〇】

	いる	いない
光熱費を節約するため、省エネを心がけている方	①	2
地球温暖化対策のため、省エネを心がけている方	1	②
他の世帯が省エネ行動をしているため、省エネを心がけている方	1	②
上記以外の理由で省エネを心がけている方	1	②
明確な理由はないが、省エネを心がけている方	①	2

あなたご自身のことも含め、ご回答ください。

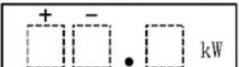
※ここでいう省エネとは、日常生活の中で電気やガスなどのエネルギーを無駄にしないようにすることをいいます。

## 6. 5月度分以降「問1」ご回答についての注意点

問1 ○月中の、エネルギー消費に影響する以下の項目についてお答えください。また、1から12にあてはまらない場合は、「13 上記1～12にあてはまるものは無い」に○印をつけてください。

- 毎月の調査票ご回答時は、1～13のいずれかに○をつけてください。
- 1～12は、該当される月の調査票のみにご回答くだされば結構です。

【あてはまるものすべてに○】

1	世帯全体で転居した	
2	居住人数が変化した → ( <u>2</u> 人から <u>3</u> 人へ )	
3	住宅を増築、または建て替えた	
4	電力会社を変更した → (変更後の会社名 :	
5	ガス会社を変更した → (変更後の会社名 : <b>京葉ガス</b> )	電力やガスの契約会社を変更された場合は、変更後の会社名をお知らせください。
6	給湯器を買い替えた → (買い替え前のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス 3 灯油 4 太陽熱給湯器) → (買い替え後のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス 3 灯油 4 太陽熱給湯器)	
7	台所用コンロを買い替えた → (買い替え前のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス) → (買い替え後のエネルギー種【一つに○】: 1 電気 2 ガス)	給湯器や台所用コンロを買い替えた場合は、買い替え前後のエネルギー種についても、それぞれお答えください。
8	太陽光発電を新規に導入または太陽電池の総容量に変化があった → 太陽電池の総容量 :  kW	※集合住宅の共用部に電力を供給するものを除きます。 ※小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで記入してください。
9	家庭用燃料電池 (エネファーム) を導入した → (売電契約の有無 : 1 有 2 無)	
10	ガスエンジン発電・暖房器 (コレモ) を導入した → (売電契約の有無 : 1 有 2 無)	
11	旅行等で5日間以上、居住者全員が不在の日があった	
12	その他 (具体的に : _____ )	
13	上記1～12にあてはまるものは無い	

1～12にあてはまらない場合は、13に○をつけてください。

ご協力のほどよろしくお願いたします。

## ★ 調査に関するお問合せメールのご利用方法

調査にご協力いただいています皆様からのお問合せは、メールでも受け付けております。どうぞお気軽にご利用ください。

### ご利用手順

お手持ちの携帯やスマートフォンで QR コードを読み取ってください。

※ QR コードが読み取れない場合は、お手数をお掛けしますが、Yahoo!や Google トップ画面最上段にアドレスを入力いただき Enter キーまたは検索ボタンをクリックしてください。  
<https://survey.intage-research.co.jp/m/co2m-entry>



intage 株式会社インテージリサーチ

### 家庭部門のCO2排出実態統計調査 お問い合わせフォーム

下記フォームに必要事項を入力の上、「確認画面」ボタンを押してください。  
 なお、お問い合わせいただいた内容は、事務局営業時間内にご回答させていただきます。  
 あらかじめご了承ください。  
 事務局営業時間：9：30～17：30（土・日・祝日・年末年始を除く）

※ご注意点※  
 ご入力いただいたメールアドレスに誤りがございまして、お問い合わせについての回答メールがお送り出来な場合があります。  
 また、携帯電話やスマートフォンのメールアドレスをご指定される場合は、「intage.co.jp」・「intage.com」ドメインからのメールが受信可能であることの設定についても、今一度ご確認をお願いいたします。未設定がされていない場合にも回答メールが届かない場合がございますので、ご注意ください。

下記の必要事項をご入力ください。  
※必須の項目は必ずご入力ください

メールアドレス (必須)  (半角)

メールアドレス (確認：上記と同じアドレスを入力) (必須)  (半角)

氏名 (必須)

世帯コード(ID) (必須)  (半角数字のみ)

お問合せ内容 (必須)

電話番号  -  -  (半角数字)

※世帯コード (ID) はお渡している茶封筒もしくは調査票の左上にある「4桁」・「2桁」の計6桁の数字もしくはインターネットコード表の「ID」を入力してください。ハイフン[-]は不要です。

当社は、ご記入いただいた各種の個人情報を下記のように取り扱います。  
 ■利用目的：お問い合わせの管理および返信のみに利用致します。  
 ■個人情報関係の正確性：個人情報の提供は任意となりますが、お問い合わせ等に応じるために必要不可欠な項目について提供いただけない場合はお問い合わせ等に関するお答えができませんのでご了承ください。  
 ■問い合わせ先：個人情報に関する問い合わせは下記までお願い致します。  
 株式会社 インテージリサーチ 調査部門のCO2排出実態統計調査事務局  
 TEL: 042-476-5078 / FAX: 042476-5049  
 Email: ita-co2@intage.co.jp

同意いたします。

● はじめにご注意点をお読みください。

● 入力画面に必要事項を入力ください。

**[注意]**  
 世帯コード (ID) とは、調査票や茶封筒の左上に印字されている6ケタの数字です。

● 個人情報の取り扱いについての文面を確認の上、「同意いたします」の左側口をクリックし、チェックをつけてください。

● 「確認画面」ボタンをクリックください。

Intage 株式会社インテージ

## 家庭部門のCO2排出実態統計調査 お問い合わせフォーム

下記の内容で登録してよろしければ「送信」ボタンを押してください。

メールアドレス	<input type="text"/>
メールアドレス（確認：上記と同じアドレスを入力）	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>
世帯コード(ID)	999999
お問い合わせ内容	<input type="text" value="お問い合わせ内容をご入力ください。"/>
電話番号	999-9999-9999

● 入力いただいた返信用のメールアドレスを再度ご確認ください。

※ 内容に間違いがなければ、「送信」ボタンをクリックください。  
※ 修正が必要な場合は、「戻る」ボタンをクリックし再度入力してください。

Intage 株式会社インテージ

## 家庭部門のCO2排出実態統計調査 お問い合わせフォーム

送信が完了いたしました。お問い合わせありがとうございました。  
ご入力いただいたメールアドレスに受付確認メールを送信いたしますのでご確認ください。

お急ぎの場合は、お手数ですが下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。  
長期にわたる調査ではございますが、引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「家庭部門のCO2排出実態統計調査」事務局  
TEL:0120-305-105  
MAIL: irs-co2@intage.co.jp

ご登録が完了いたしました。  
お問い合わせありがとうございました。

お問い合わせ受付のご連絡（自動送信）

家庭部門のCO2排出実態統計調査 <irs-co2@intage.co.jp>  
宛先:

家庭部門のCO2排出実態統計調査 事務局へお問い合わせいただき、ありがとうございます。

このメールはシステムから自動で送信される、お問い合わせ受付のご連絡です。

お問い合わせいただいた順に事務局担当者よりご連絡いたします。  
恐れ入りますが、ご連絡を差し上げるまでお待ちくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

長期にわたる調査ではございますが、引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「家庭部門のCO2排出実態統計調査」事務局  
TEL:0120-305-105  
MAIL: irs-co2@intage.co.jp  
受付時間 平日9:30~17:30

● お問い合わせメール送信後に、折り返し「お問い合わせ受付のご連絡」メールを受信できているかご確認ください。

※ お問い合わせメールの返信は、平日 9:30~17:30 の間にお送りいたします。  
※ お問い合わせ内容によっては、お電話にてご案内する場合がございますので、あらかじめご了承ください。